

マンガでわかる Python



基本の基本を知ろう

データ型

複数の値のデータ型

条件分岐をしよう

繰り返し処理をしよう

関数を作ろう

エラーとエラー制御

ファイルの読み書きをしよう

目次

第1章 「プロローグ」

1-1 「新人教育」

第2章 「まずは下準備」

2-1 「プログラムって何？」

2-2 「開発環境を作ろう」

2-3 「簡単なプログラムの実行」

2-4 「今後の方針」

第3章 「基本の基本を知ろう」

3-1 「処理順とインデント」

3-2 「コメント」

3-3 「プログラムの要素1」

3-4 「関数」

3-5 「値」

3-6 「演算子」

3-7 「プログラムの要素2」

3-8 「変数と代入」

3-9 「インポート」

3-10 「pip」

3-11 「自作モジュール」

第4章 「データ型」

4-1 「データ型」

4-2 「整数と小数点数」

4-3 「テキスト」

4-4 「真偽値と比較演算子」

4-5 「None」

第5章 「複数の値のデータ型」

5-1 「リスト」

5-2 「リストとテキストの変換」

5-3 「タプル」

5-4 「辞書」

5-5 「集合」

第6章 「条件分岐をしよう」

6-1 「if文」

6-2 「if文2」

6-3 「複数の比較」

6-4 「いろいろな比較」

第7章 「繰り返し処理をしよう」

- 7-1 「while文」
- 7-2 「for文」
- 7-3 「enumerate関数」
- 7-4 「range関数」
- 7-5 「辞書と組み合わせる」
- 7-6 「リストやfor文の入れ子」
- 7-7 「break文とcontinue文」
- 7-8 「リスト内包表記」

第8章 「関数を作ろう」

- 8-1 「関数を作る」
- 8-2 「pass」
- 8-3 「デフォルト値と
キーワード引数」
- 8-4 「アンパックと可変引数」
- 8-5 「lambda式」

第9章 「エラーとエラー制御」

- 9-1 「エラーが出た」
- 9-2 「エラーを見てバグを直す」
- 9-3 「エラーがまた出た」
- 9-4 「エラー制御」

第10章 「ファイルの読み書きを しよう」

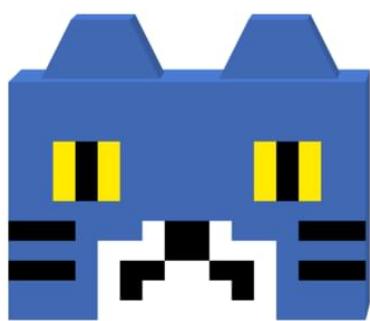
- 10-1 「CWDと
プログラムのパス」
- 10-2 「プログラムのパスと
名前」
- 10-3 「パスの操作」
- 10-4 「テキストファイルの
読み込み」
- 10-5 「テキストファイルの
書き込み」
- 10-6 「CSVの読み書き」
- 10-7 「JSONの読み書き」
- 10-8 「ファイル一覧」
- 10-9 「複製や削除など」

第11章 「エピローグ」

- 11-1 「まとめ」
- 11-2 「この先」
- 11-3 「社長への報告」

第1章

プロローグ



1-1 「新人教育」













忠商企業 登場人物



新見
にいみ

入子
いりこ

新入社員 頑張り屋さん
プログラミング未経験



猫野
ねこの

美実
みみ

開発室長 ワンオペに
苦しんでいたプログラマー



青太郎
あおたろう

と 虎次郎
とらじろう

会社猫

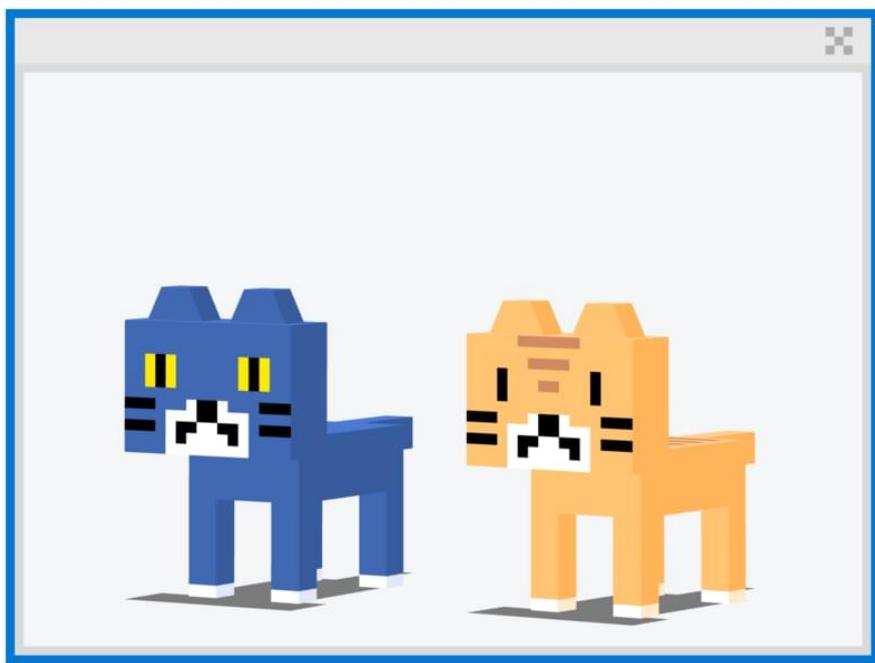
職場に居ついている



長久
ながく

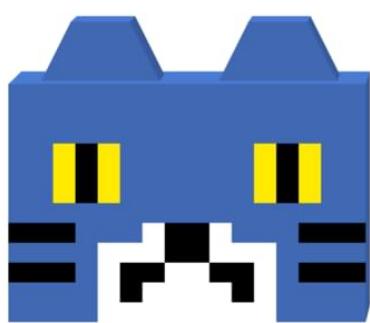
務
つとむ

社長 子犬のよう
に 社員を拾つてくる



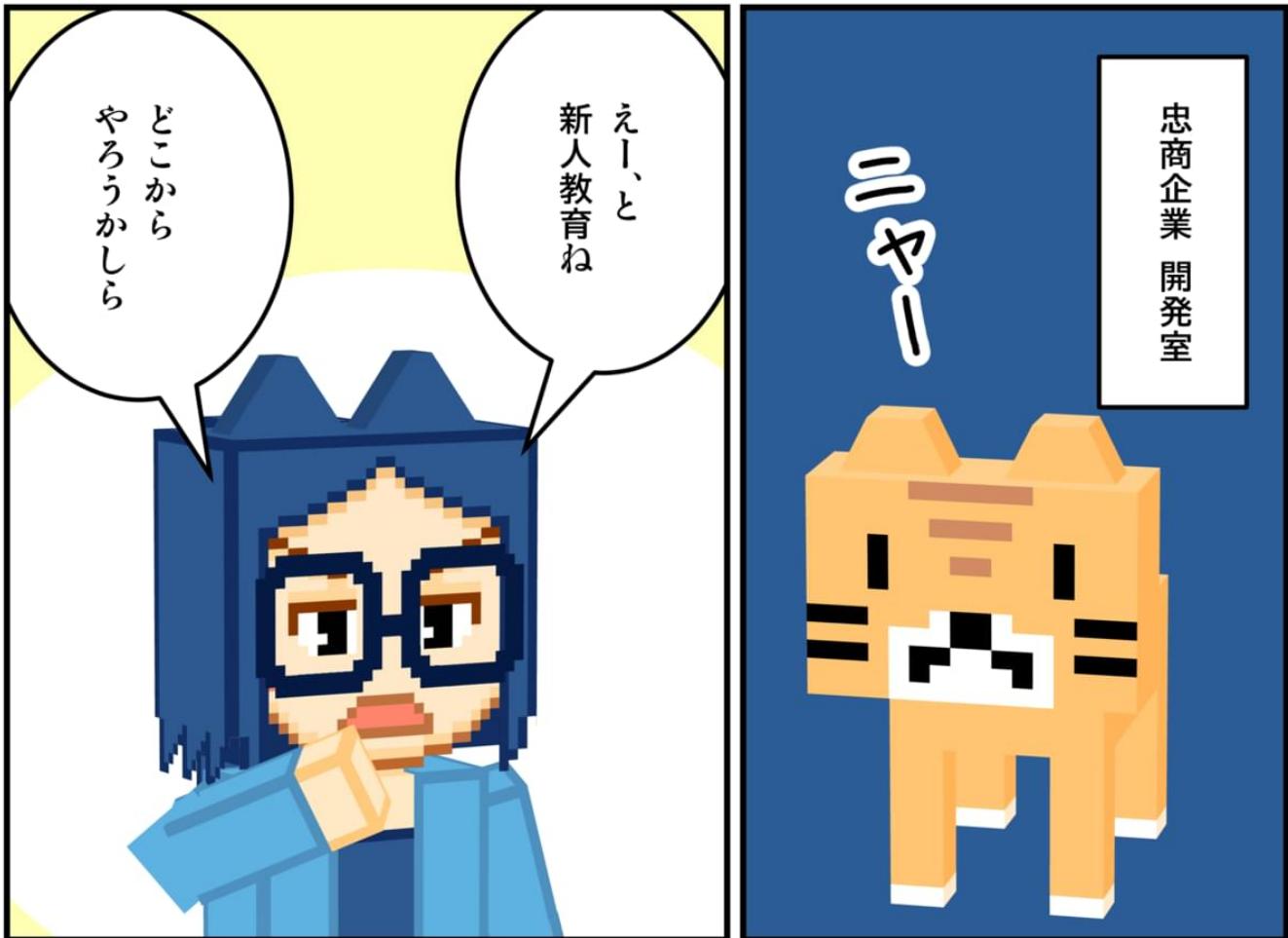
第2章

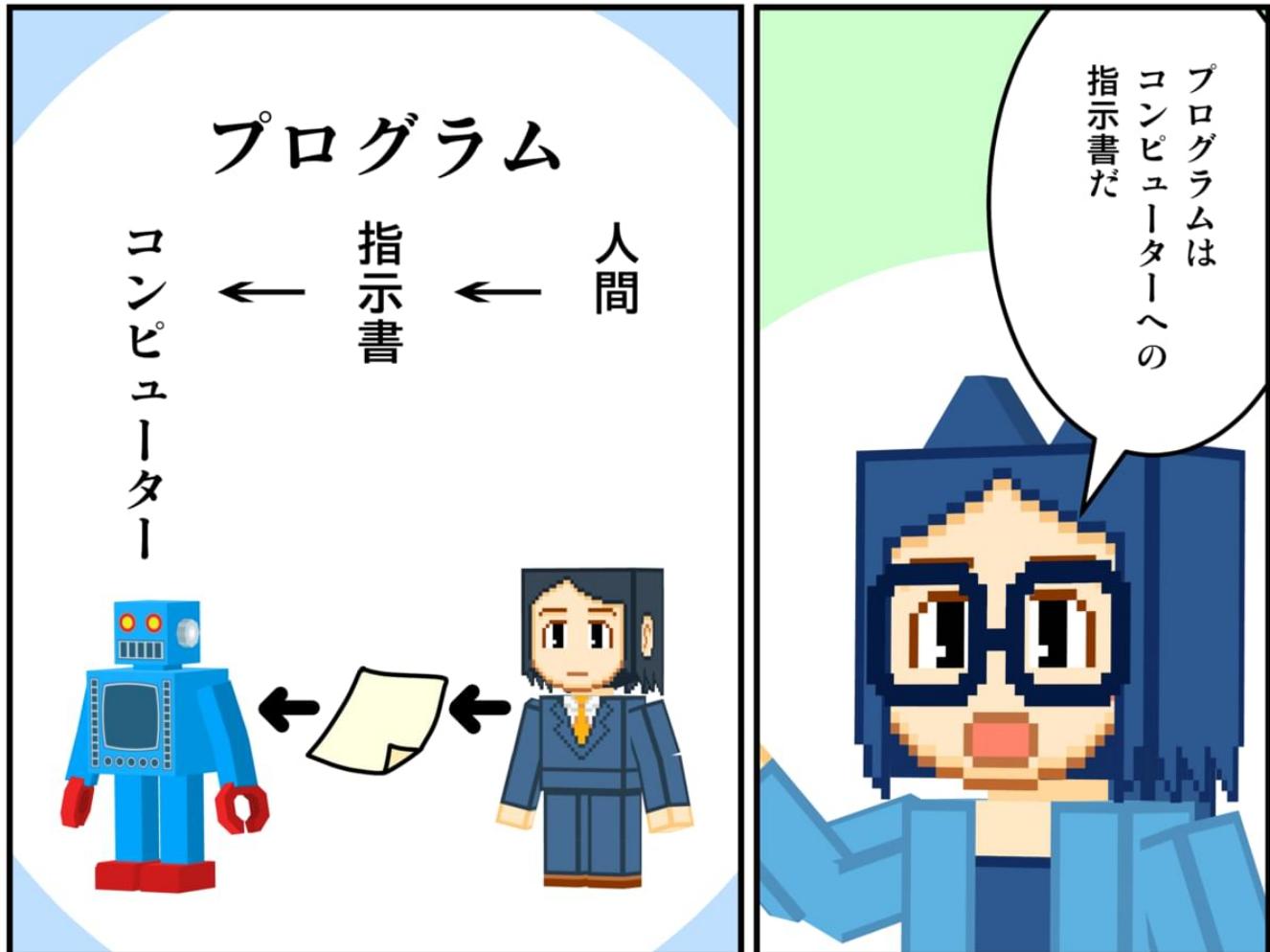
まずは下準備



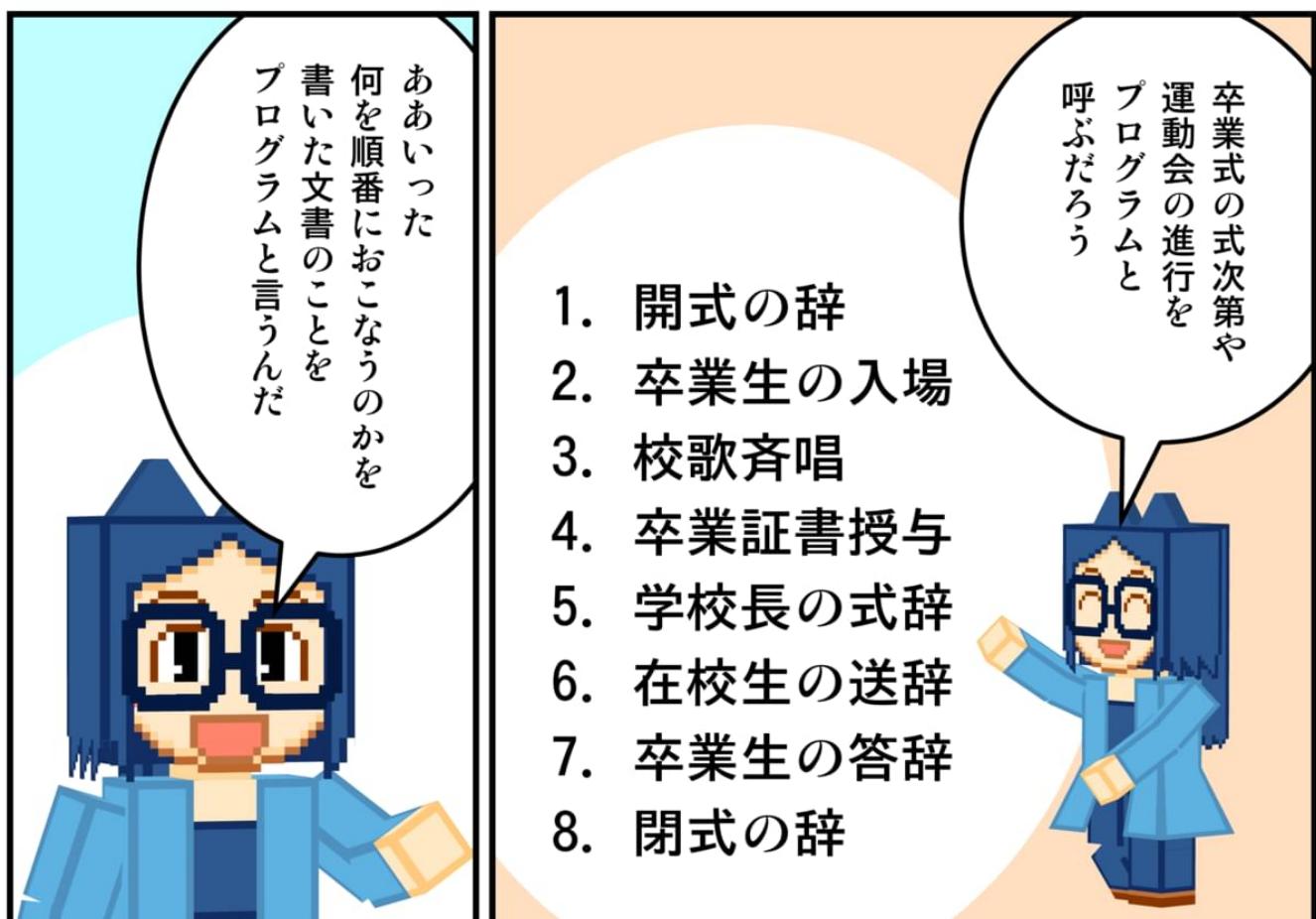
2-1 「プログラムって何?」





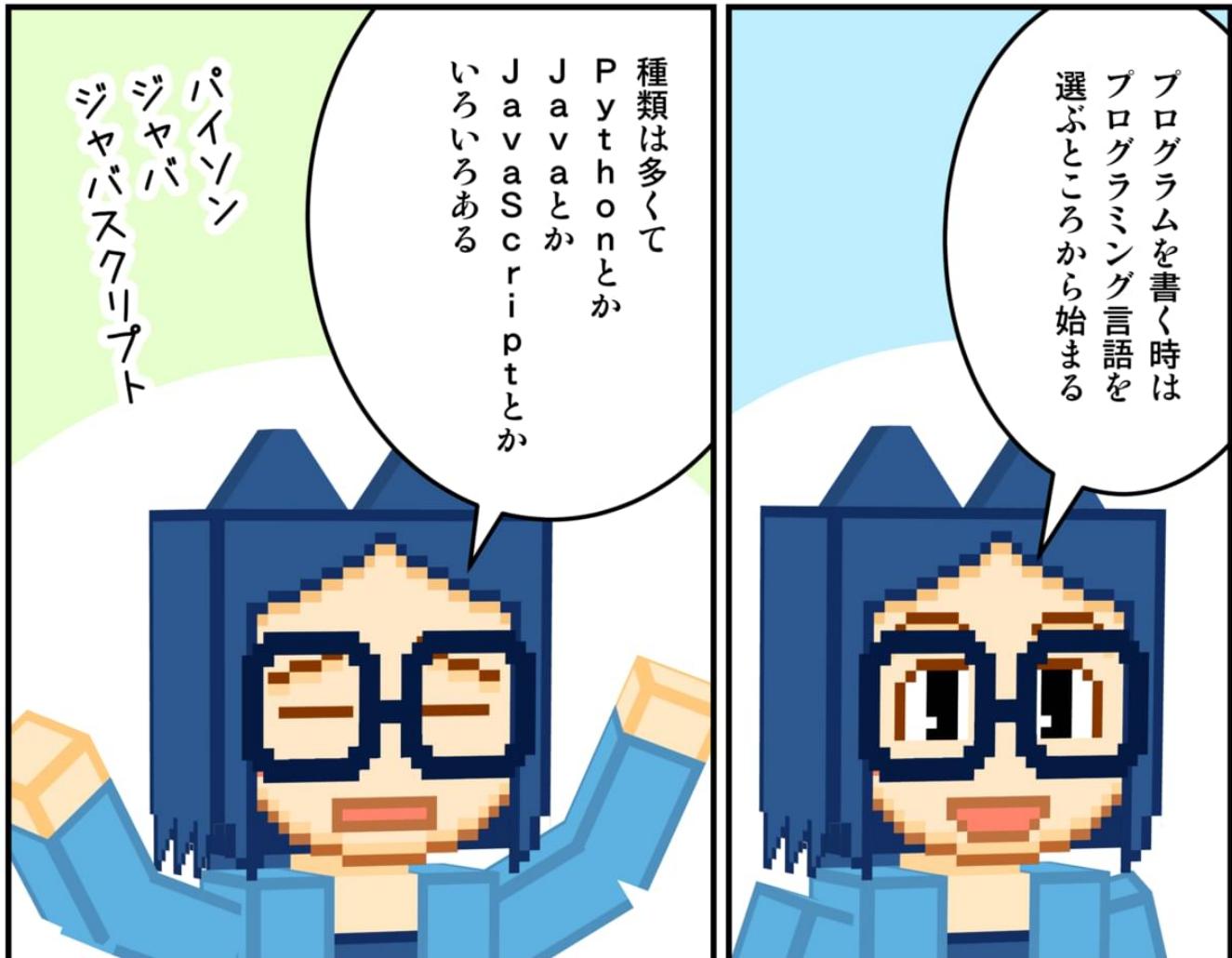


プログラムは
コンピューターへの
指示書だ



1. 開式の辞
2. 卒業生の入場
3. 校歌斉唱
4. 卒業証書授与
5. 学校長の式辞
6. 在校生の送辞
7. 卒業生の答辞
8. 閉式の辞

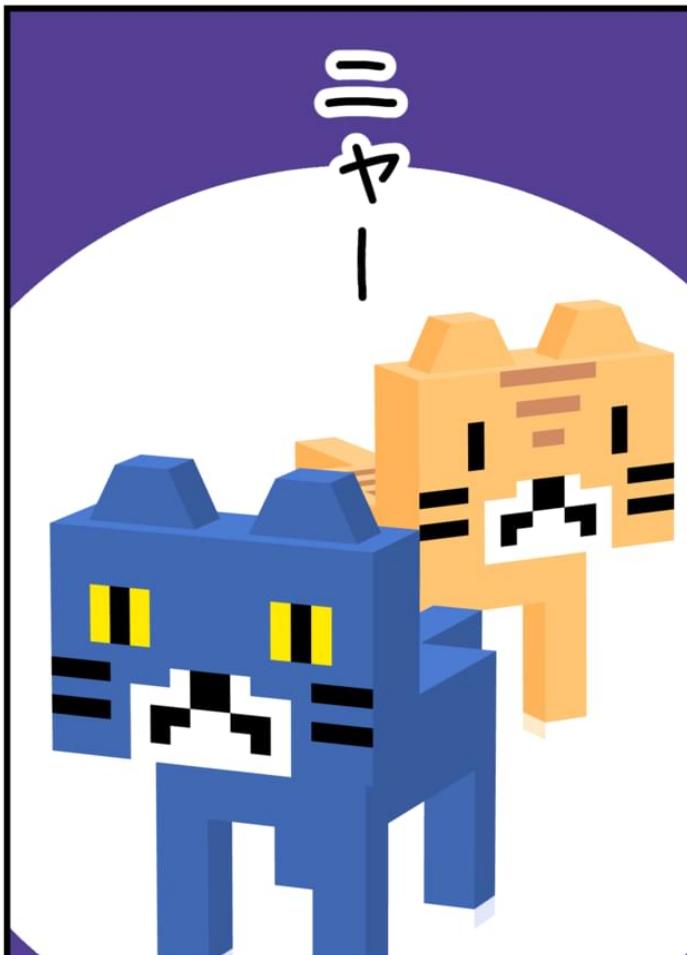


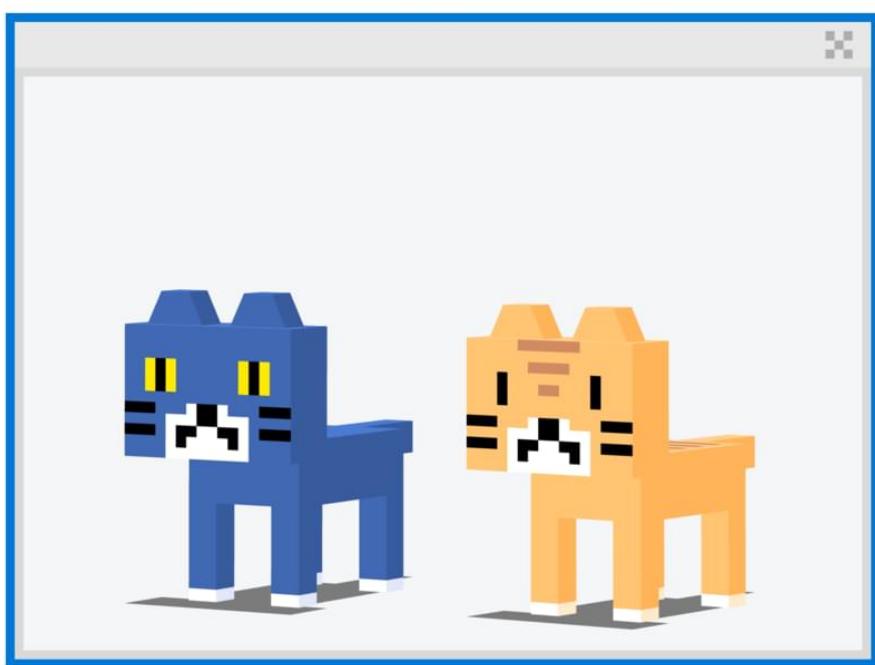




- ・平易で分かりやすい
- ・人気がある
- ・普及している







2-2 「開発環境を作ろう」





Python実行用のソフト
<https://www.python.org/downloads/>

インストールダイアログ



それぞれ
URLから
ダウンロードして
してくれ
インストール



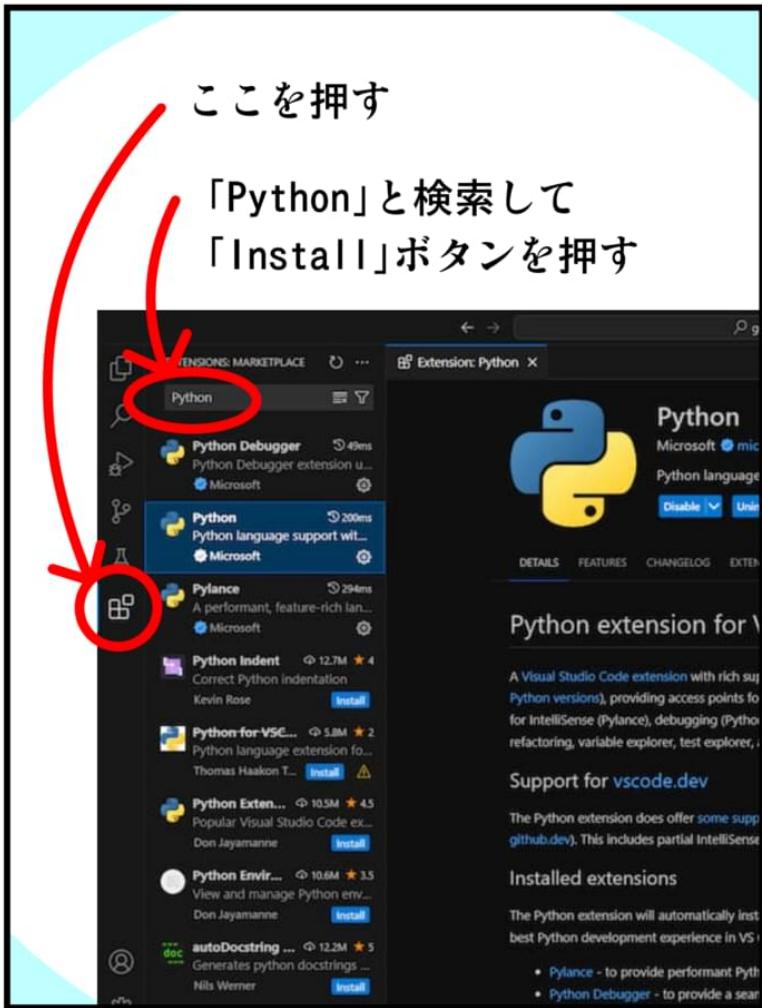
もう少しだけある

これで完了ですか？

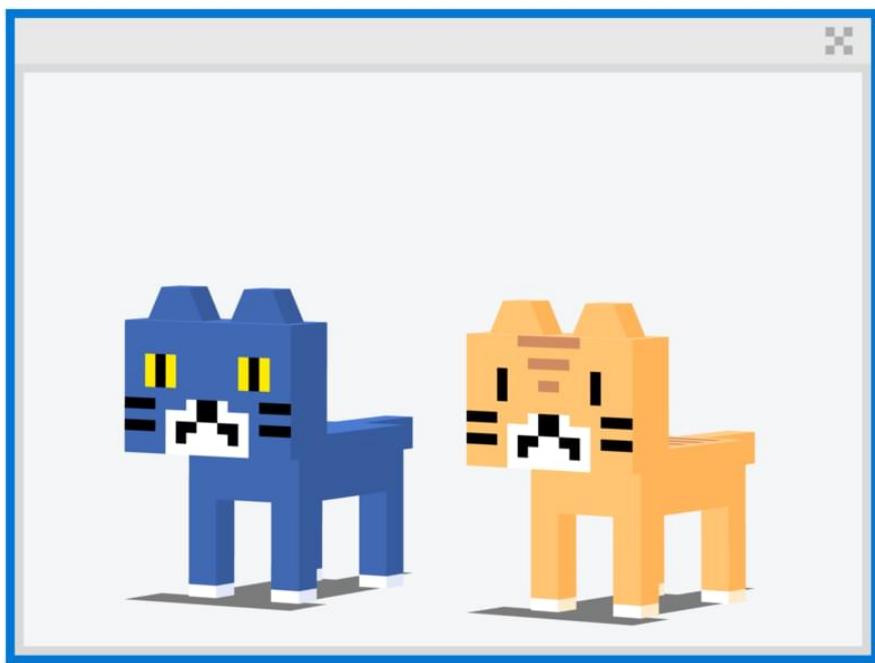


プログラミング用のエディター
Visual Studio Code
<https://code.visualstudio.com/Download>

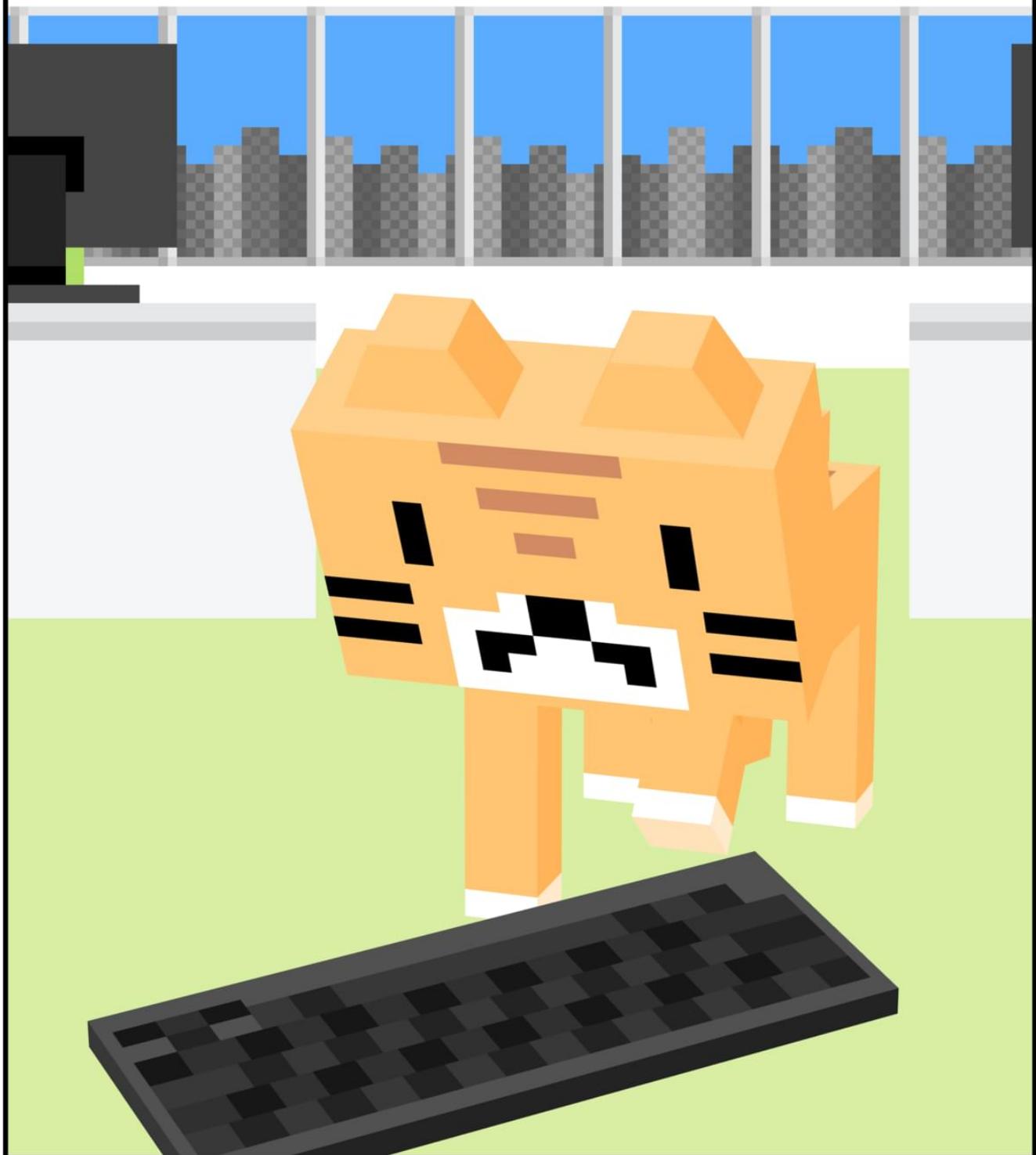
VSCodeと略すことが多い







2-3 「簡単なプログラムの実行」





そして
Pythonを
実行する

「python」と入力して
[Enter]キーを押すと
行の左端が「>>>」になる

pythonコマンドは
Macだとpython3に読み換え

V S C o d e で
ターミナルを開く

[Ctrl+@]あるいは
メニューの「View>Terminal」で
ターミナルを開く

CtrlはMacでは⌘(Cmd)

```
PS C:\Users\yana> python
>>> 
```

「1+2」と半角文字で入力して
[Enter]キーを押す

```
>>> 1+2
```

```
3
```

計算結果の「3」が表示される

[Ctrl+Z]で終了できる

この状態で
ものすごく簡単な
プログラムを書いて
実行してみよう



これはまだ
入門の入門だから

先輩、私
プログラミングを
マスターしました



これは
1～3行程度の
プログラムに
向いている

REPL

Read-Eval-Print Loop

先ほどのは
REPLと呼ばれる
対話的にプログラムを
実行する方法だ



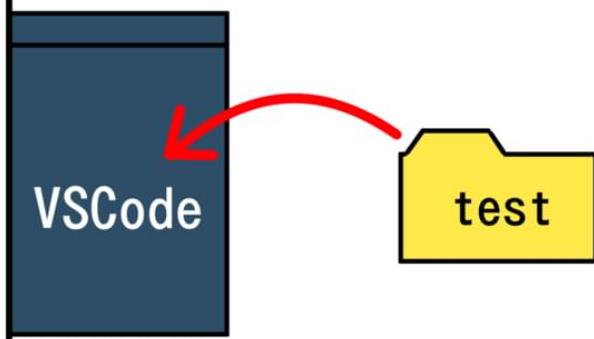
分
か
り
ま
し
た

この方法も
説
明
す
る
ぞ

それより長い
プロ
グラ
ムは
フ
ァ
イ
ル
に
書
い
て
実
行
す
る



「test」フォルダーを作る
VSCodeのウィンドウに
ドラッグ&ドロップする



まずは、プログラム用の
フォルダーを作り
VSCodeで開く

それでは
手順を説明するぞ



ターミナルを開き
コマンドを書いて
Enterキーを
押して実行する

フォルダー内に
ファイルを作り
VSCodeで開いて
プログラムを書いて
保存する

実行結果

コマンド

python test.py

3

拡張子が.pyのファイル
ここでは「test.py」にする

「test.py」の中身

print(1+2)

```
print(1+2)
```

```
^^^^^ ^
```

この部分

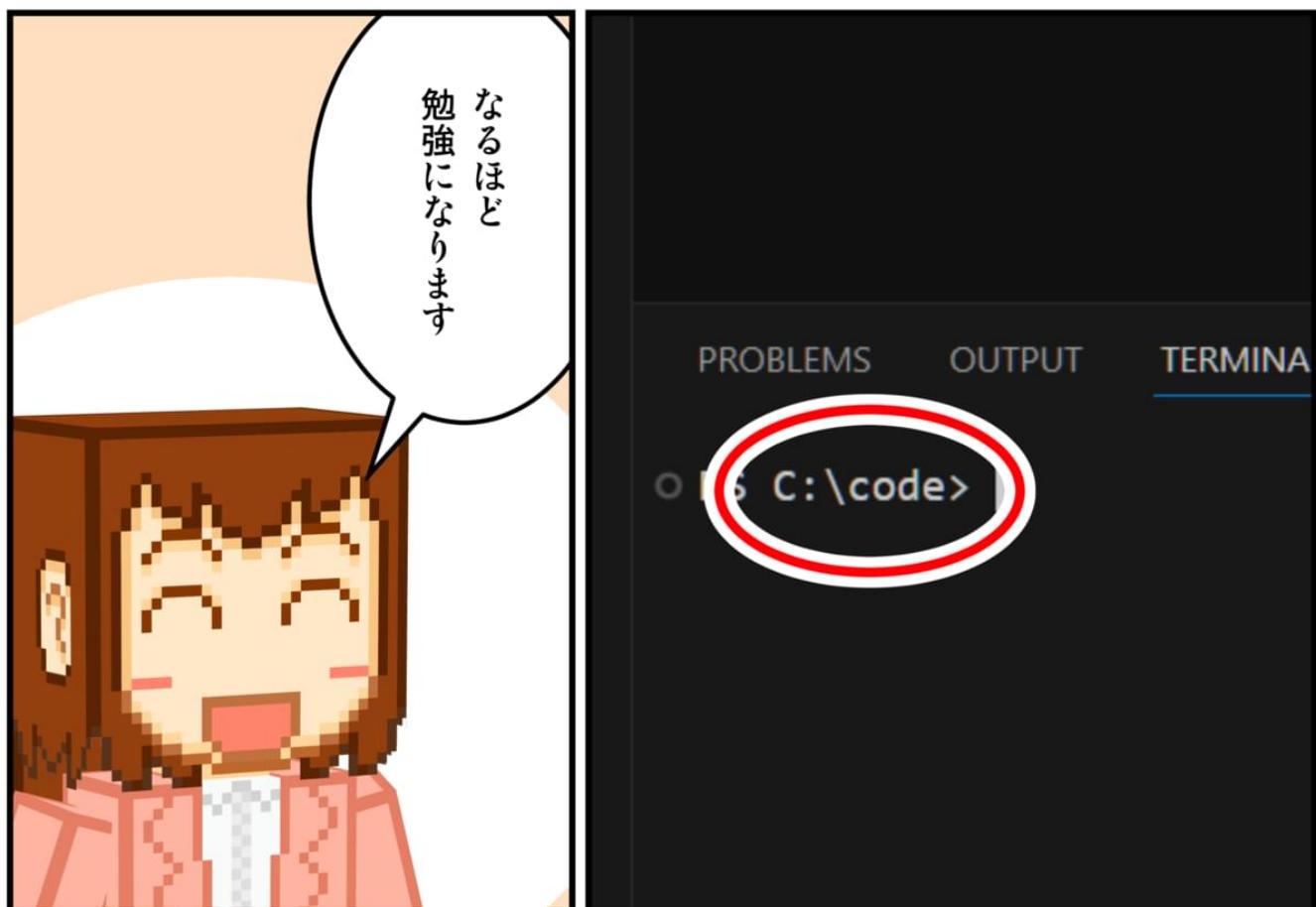
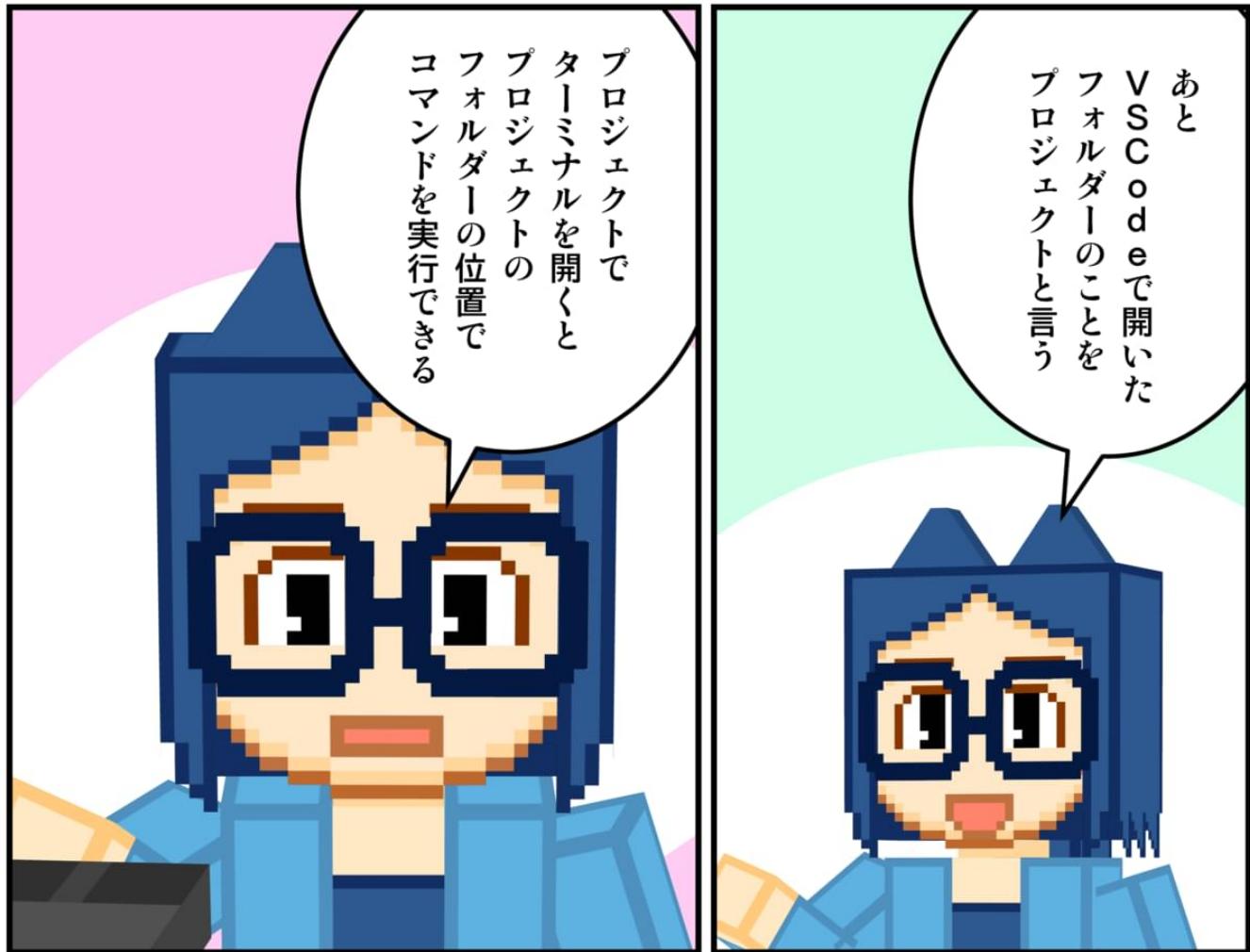
さっきと違つて
文字が増えて
いますね

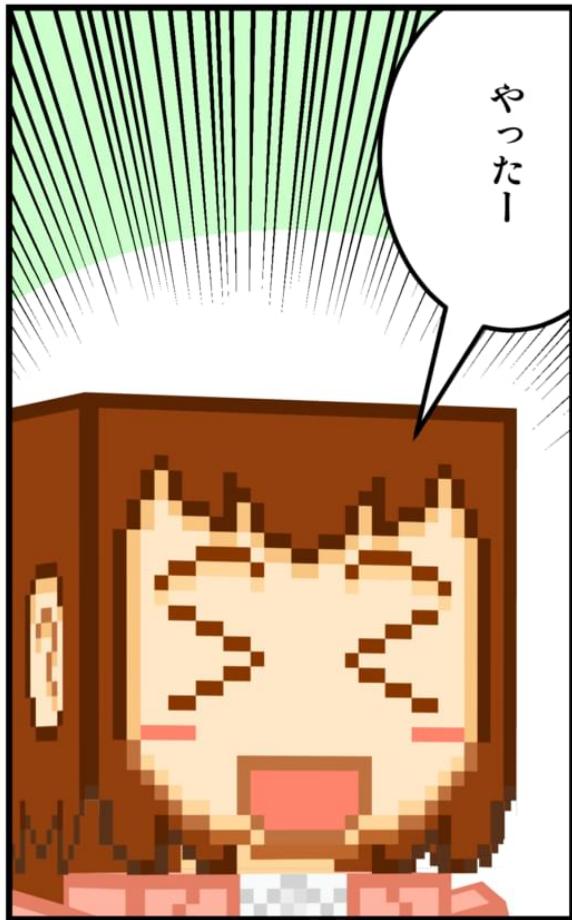


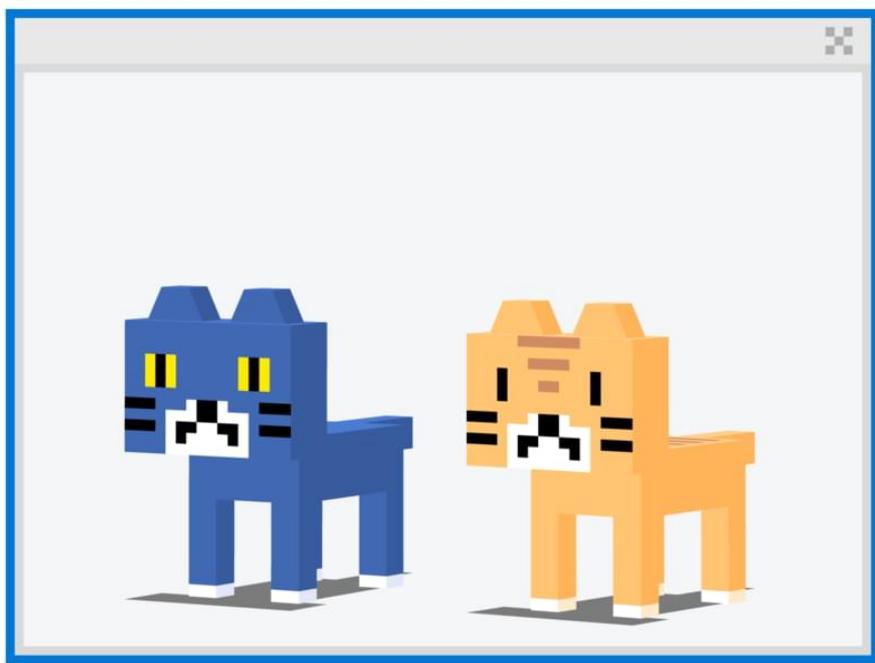
ファイルでは
画面に表示するには
print()と
書かないといけないんだ

REPLでは
結果が直接
表示された



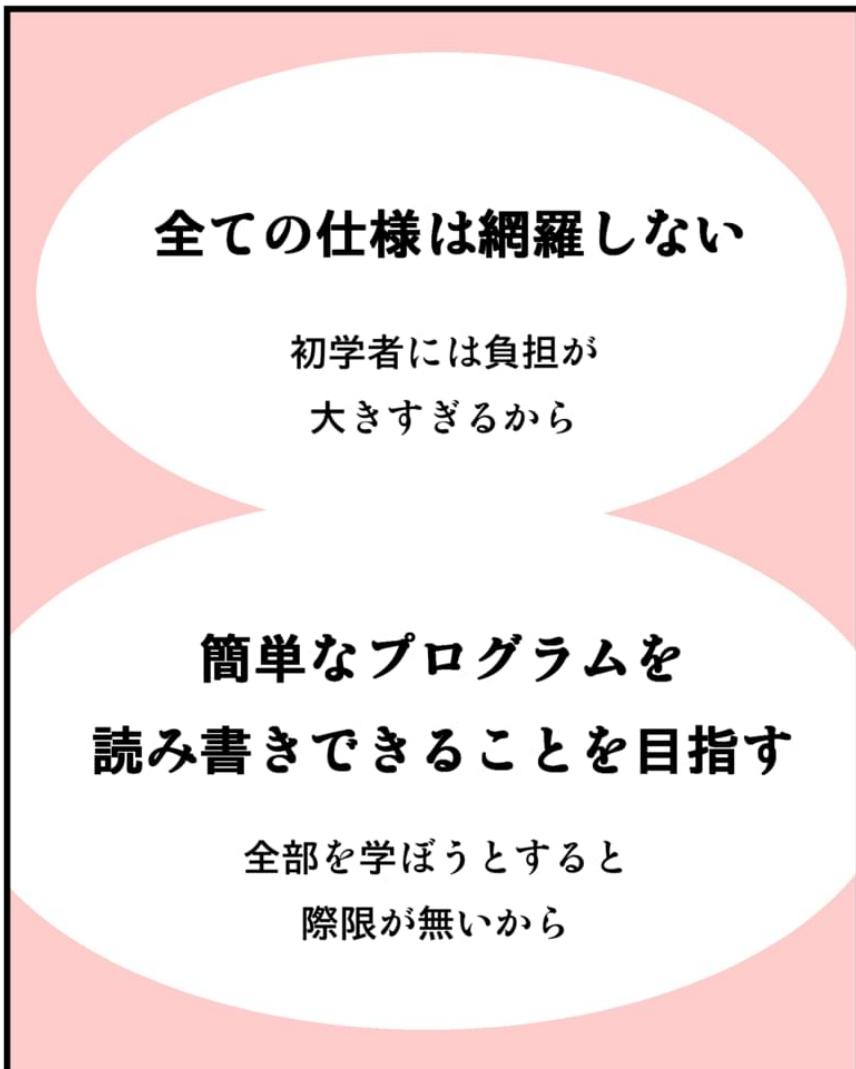






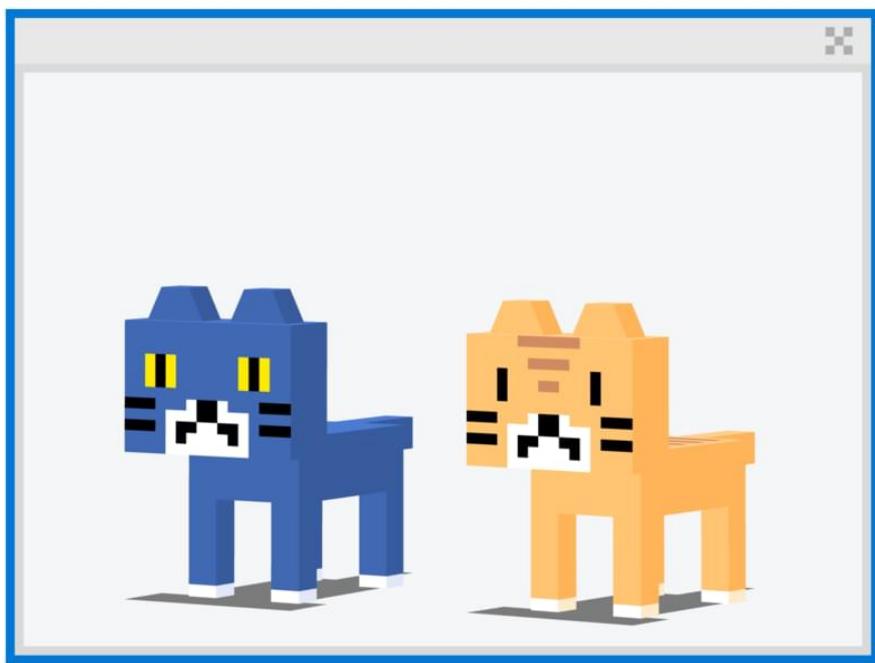
2-4 「今後の方針」





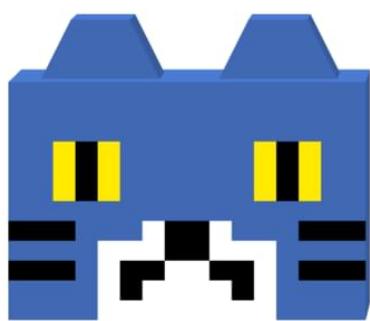




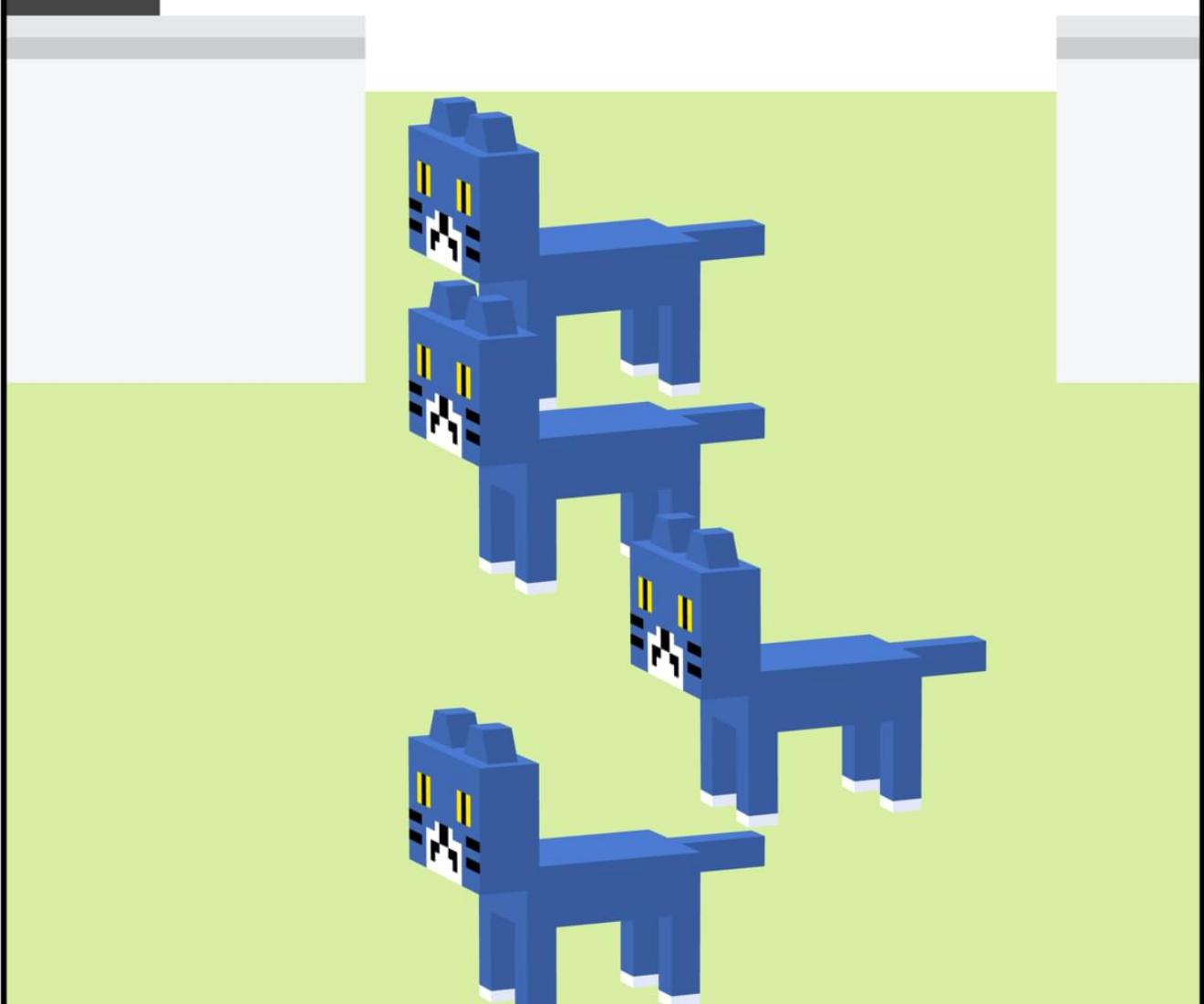
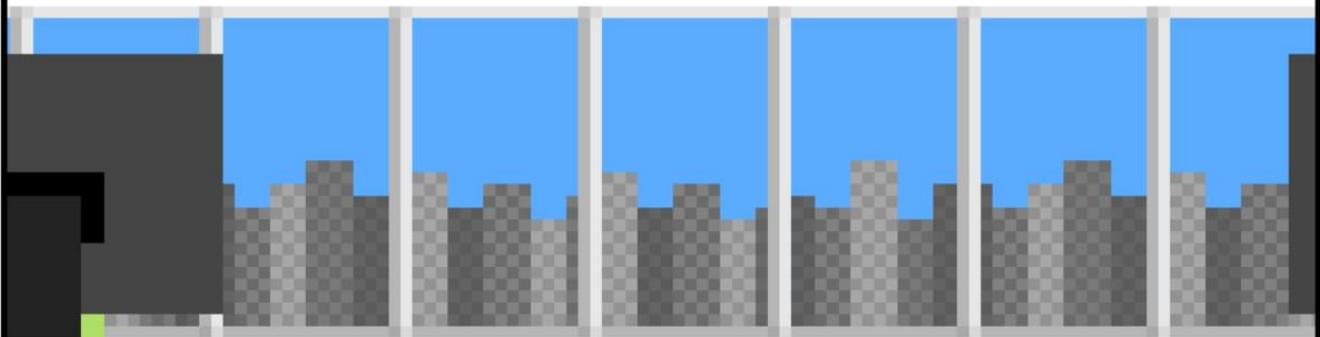


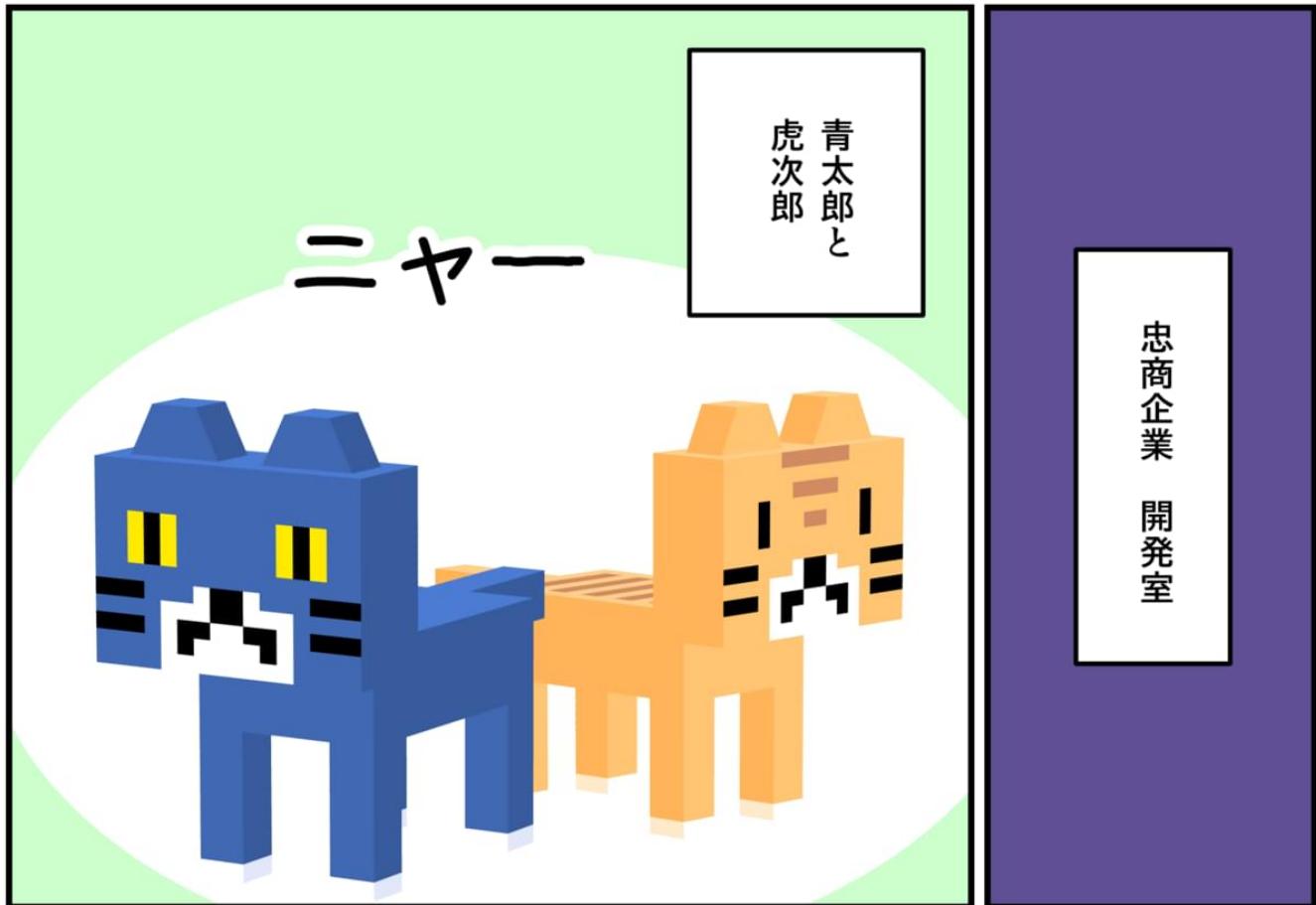
第3章

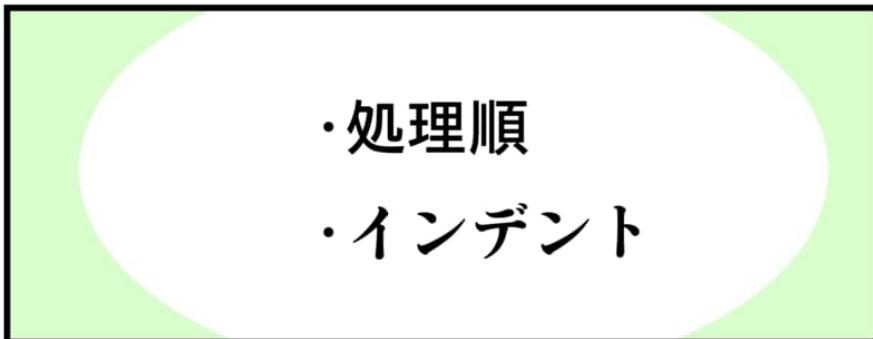
基本の基本
を知ろう



3-1 「処理順とインデント」







1行目の処理
2行目の処理
3行目の処理
4行目の処理
⋮

まずは処理順だ
基本的には
上の行から順番に
処理がおこなわれる



1: 前に3歩進め
2: 右に向きをえら
3: 前に2歩進め
4: お辞儀をしろ

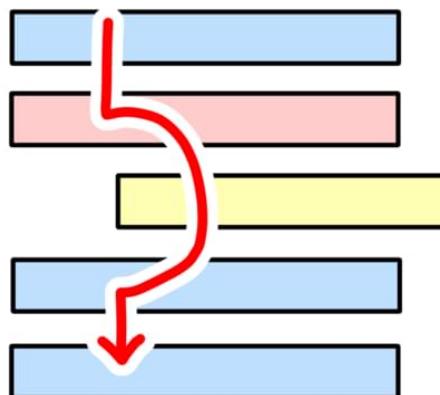
人間を動かす
プログラムなら
こんな感じだ





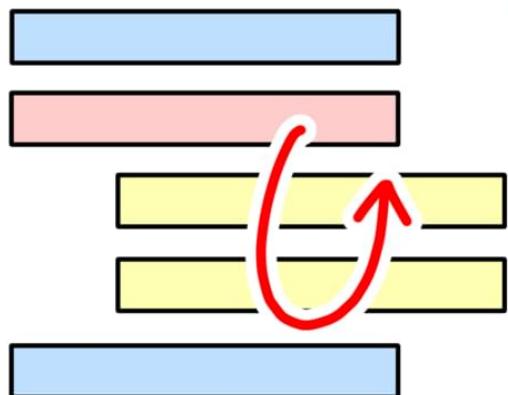
条件分岐

条件によって
処理を飛ばす



繰り返し処理

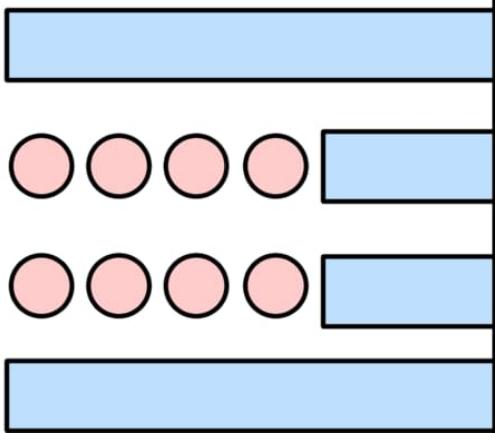
同じ場所を
ぐるぐる繰り返す



インデントは
半角スペース4文字で
おこなう

Pythonでは
プログラムのまとまり
(ブロック)を
インデントで表す

次はインデントだ



[Tab]
インデント

[Shift+Tab]
インデント解除

VS Codeで
タブキーを押すと
半角スペース4文字で
インデントされる



半角スペース4文字でインデント

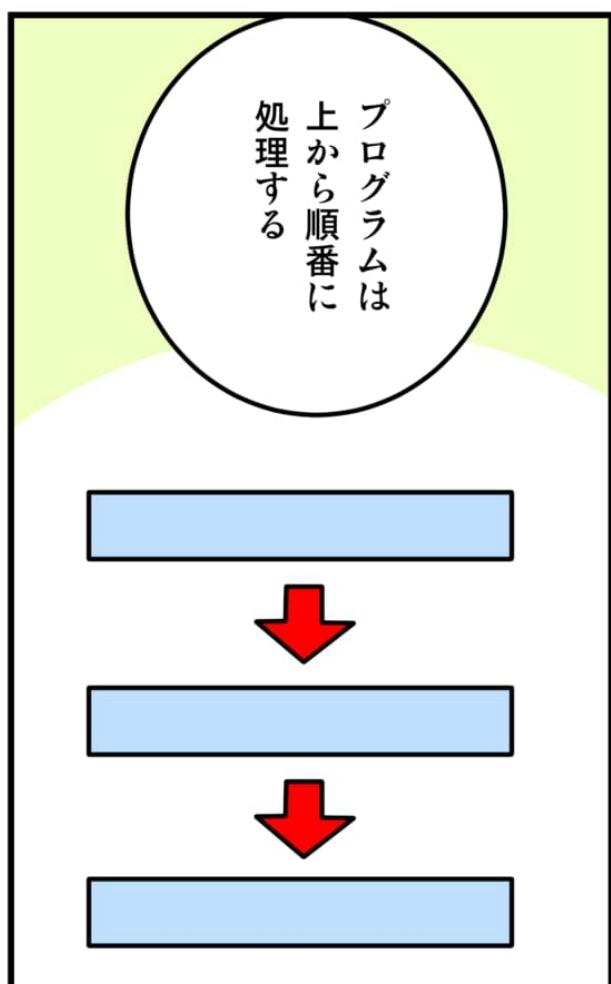
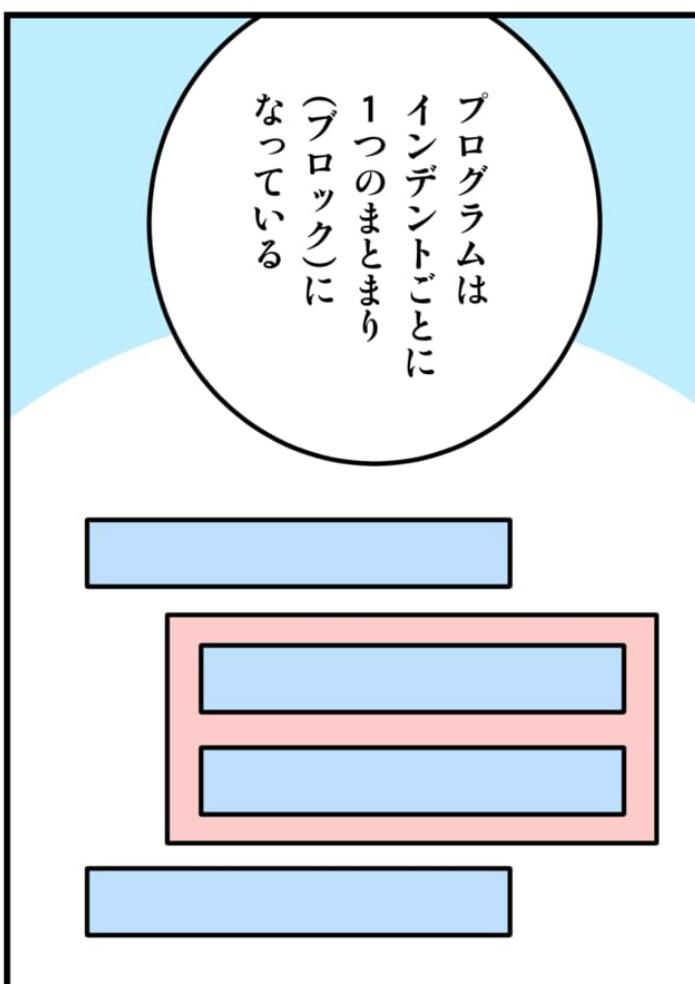
program

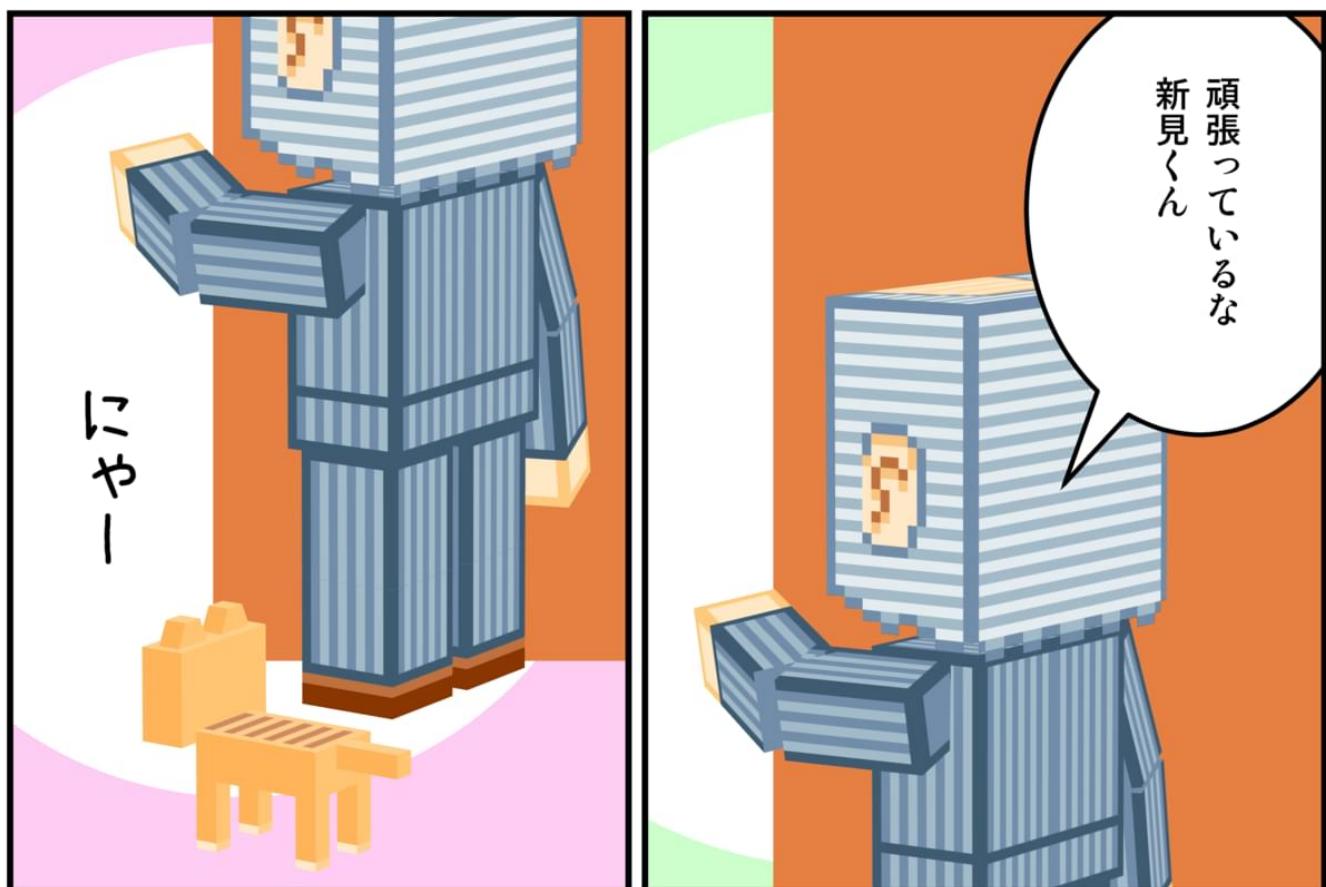
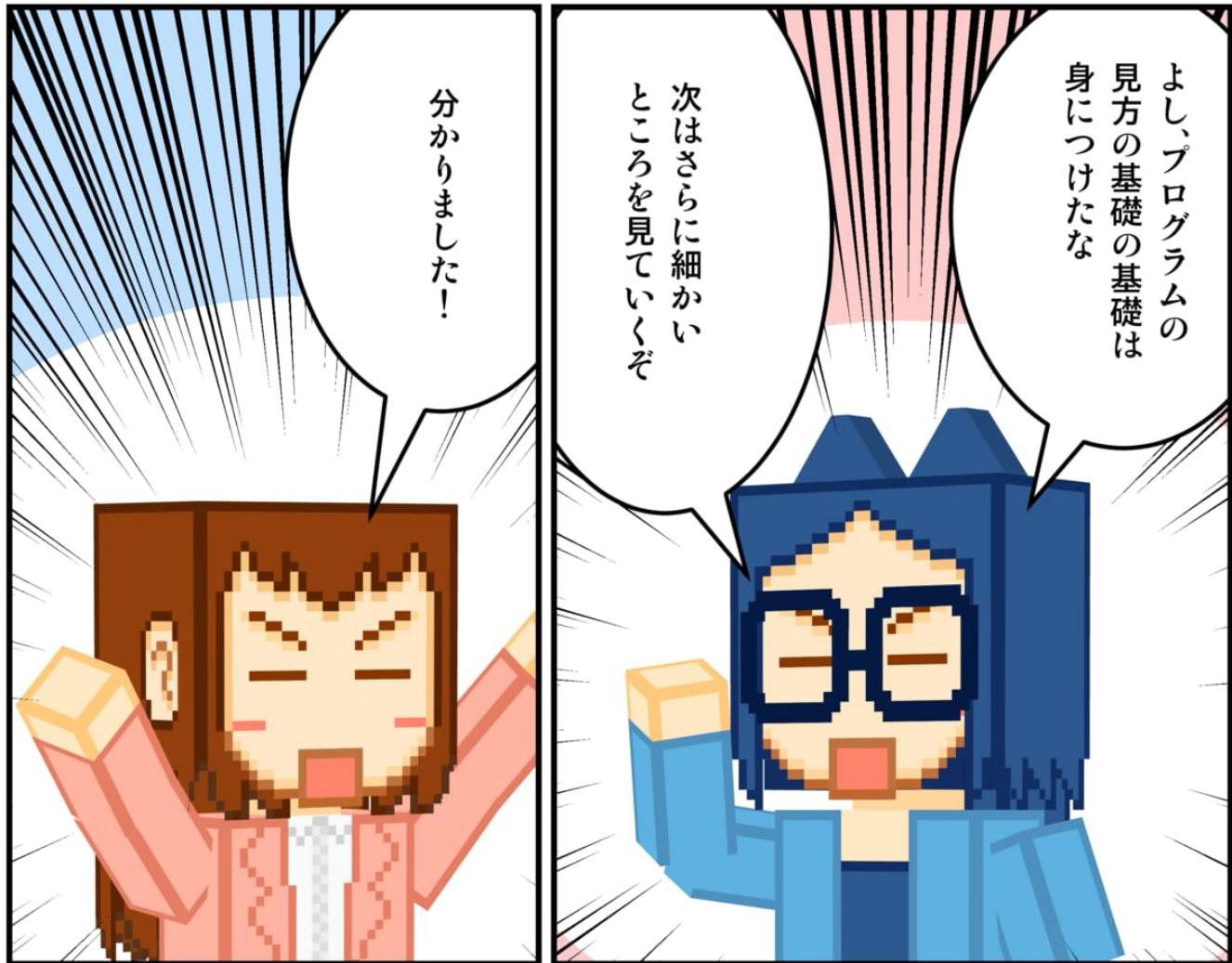
インデントごとに
同じブロック

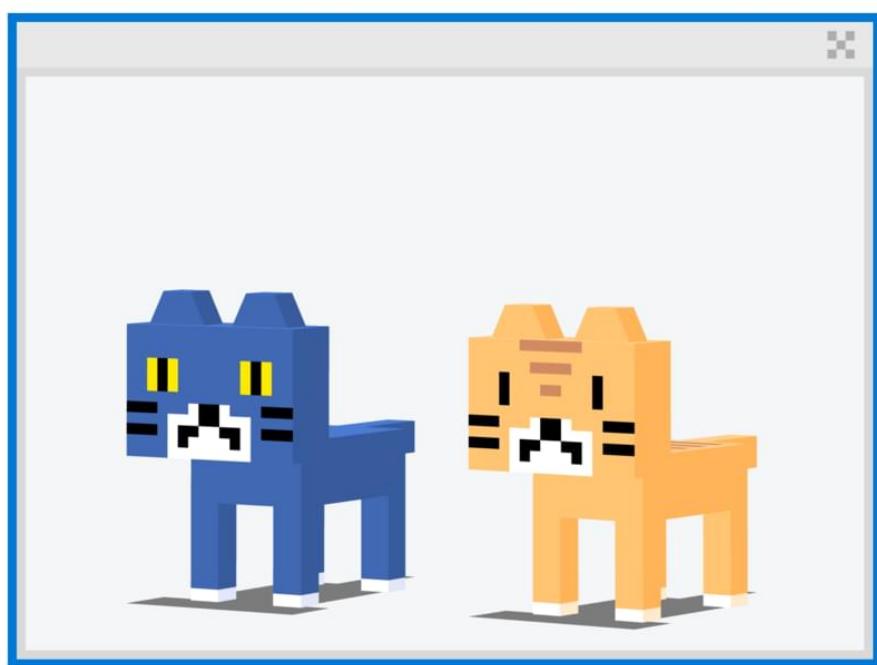
行の間に
空行があっても
同じブロック

注意点は
インデントは
同じ位置に
同じ位置に
きちんと揃える
ことだ

インデントで
ブロック構造を
表すのは
Pythonの
大きな特徴だ

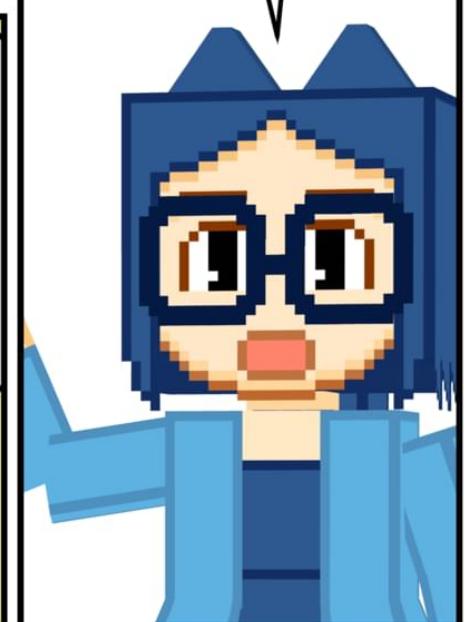
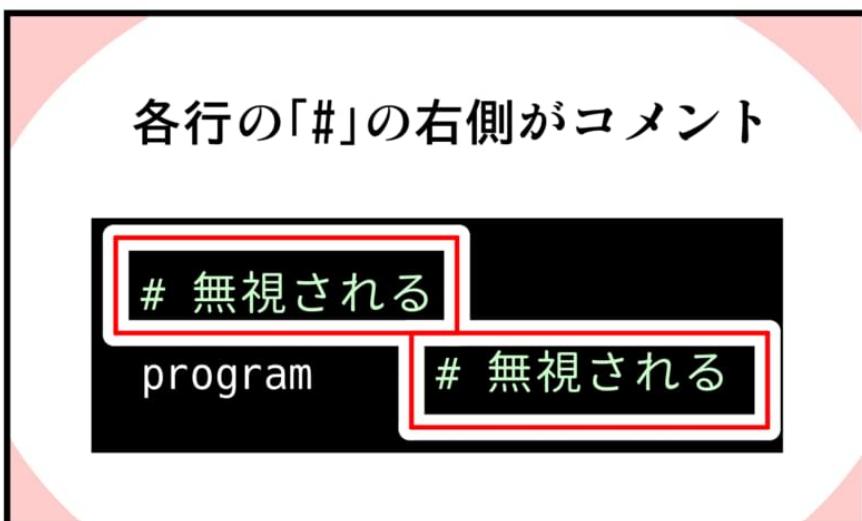




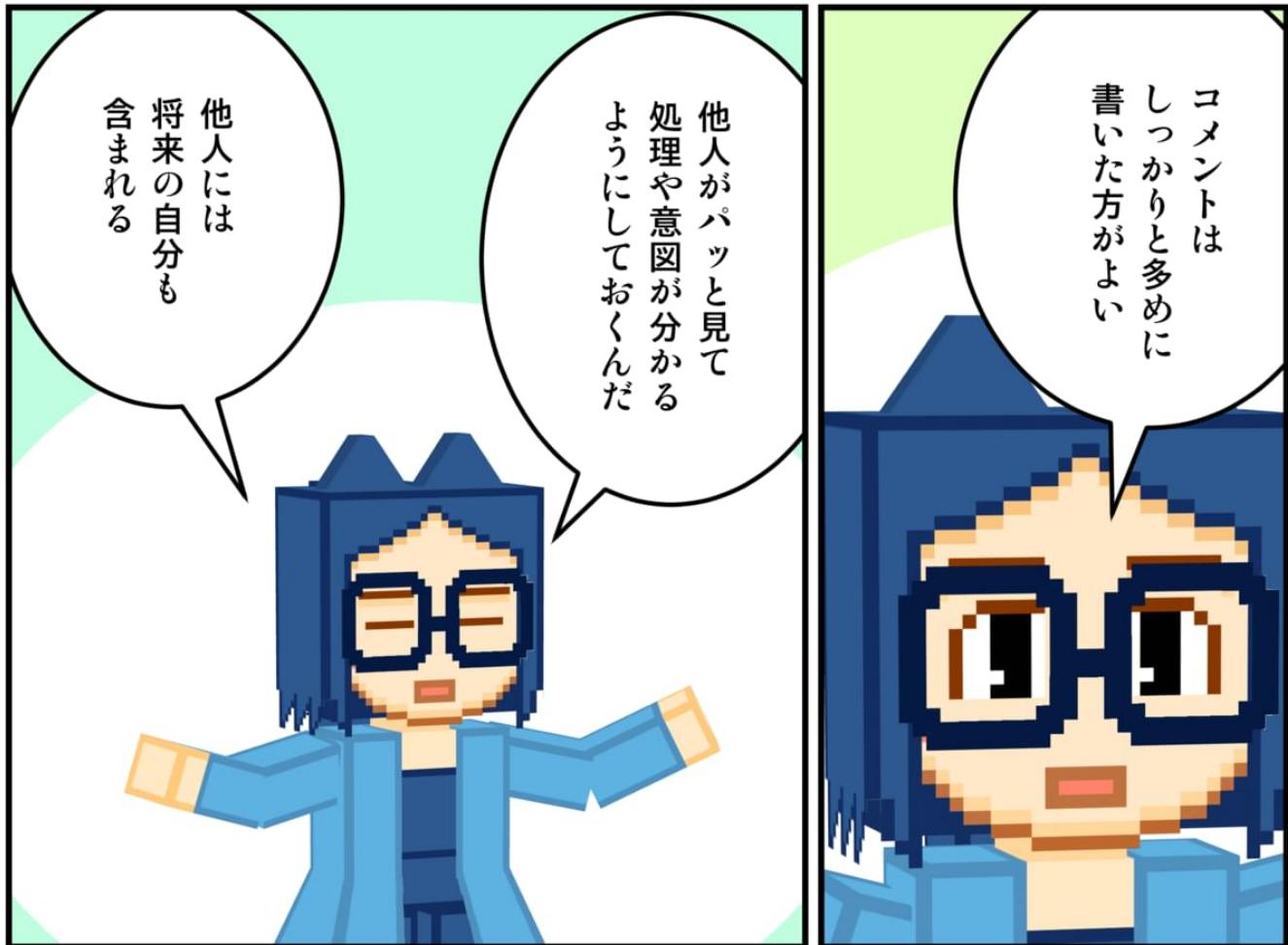


3-2 「コメント」

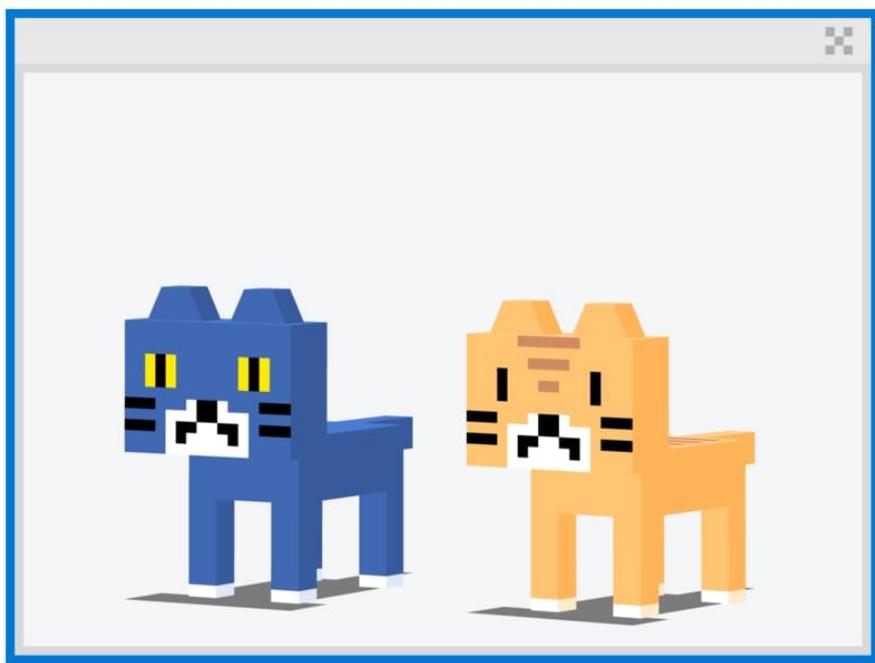






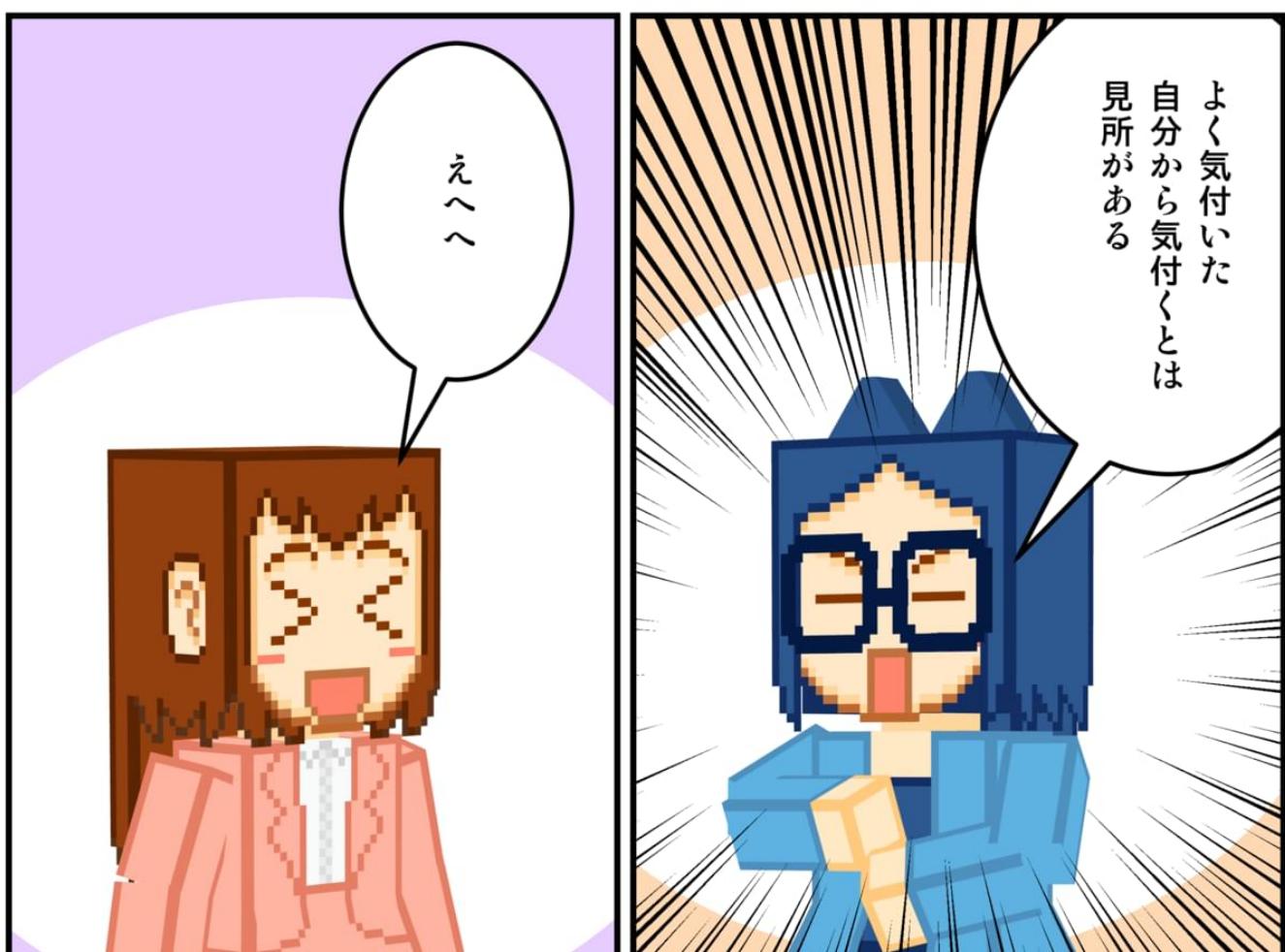
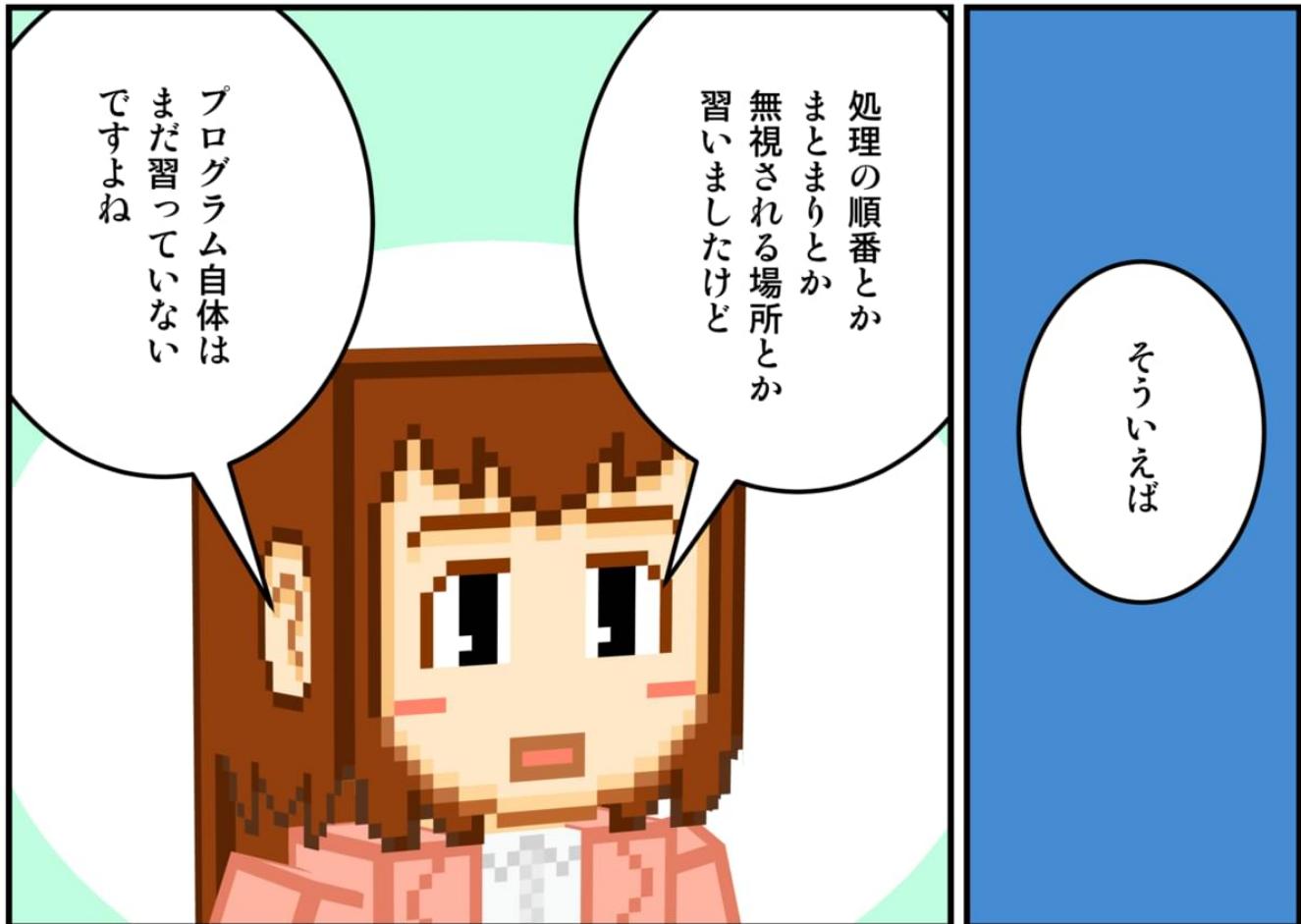




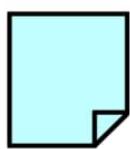


3-3 「プログラムの要素1」





まずテキスト
ファイルを作る



main.py

今回は短い
プログラムを書いて
要素を分解して
いこう

このファイルに
短いプログラムを書く

```
print(1+2)
```

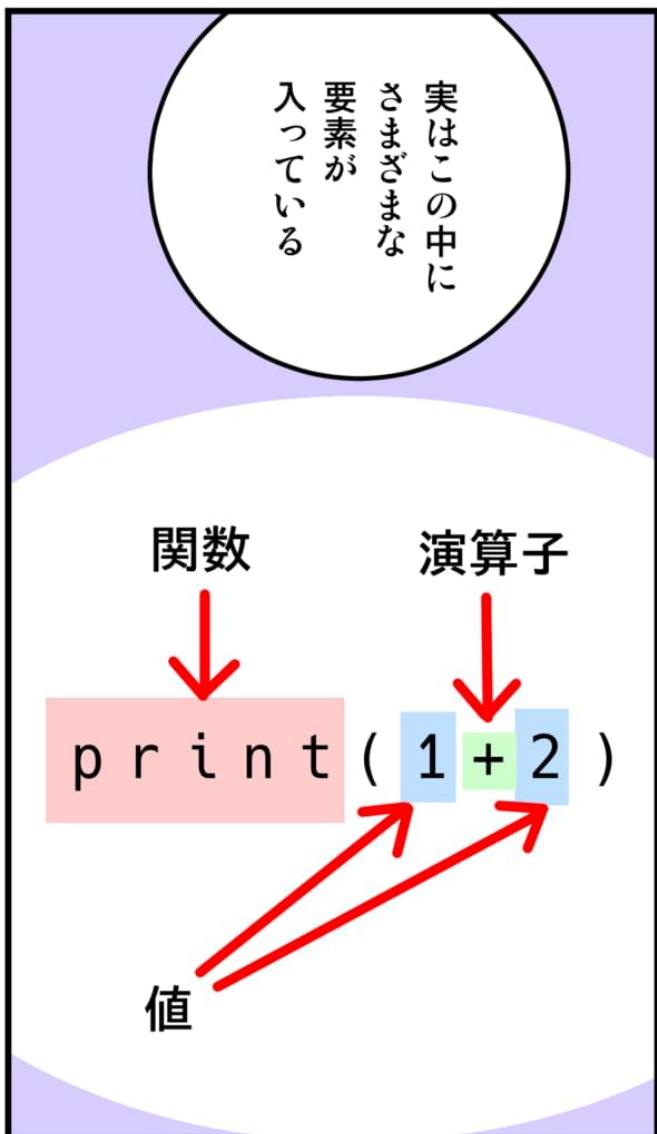


1. VSCodeでmain.pyのある
フォルダーを開く
2. Ctrl+@でターミナルを開く
3. 次のコマンドを実行
`python test.py`
4. 結果表示

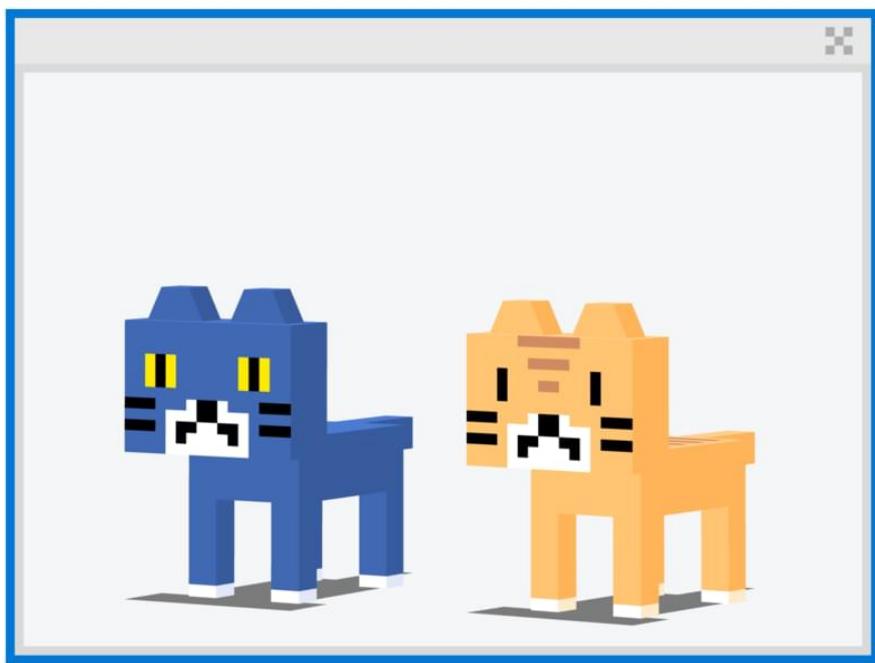
```
> 3
```

そして
Pythonの
プログラムとして
実行する



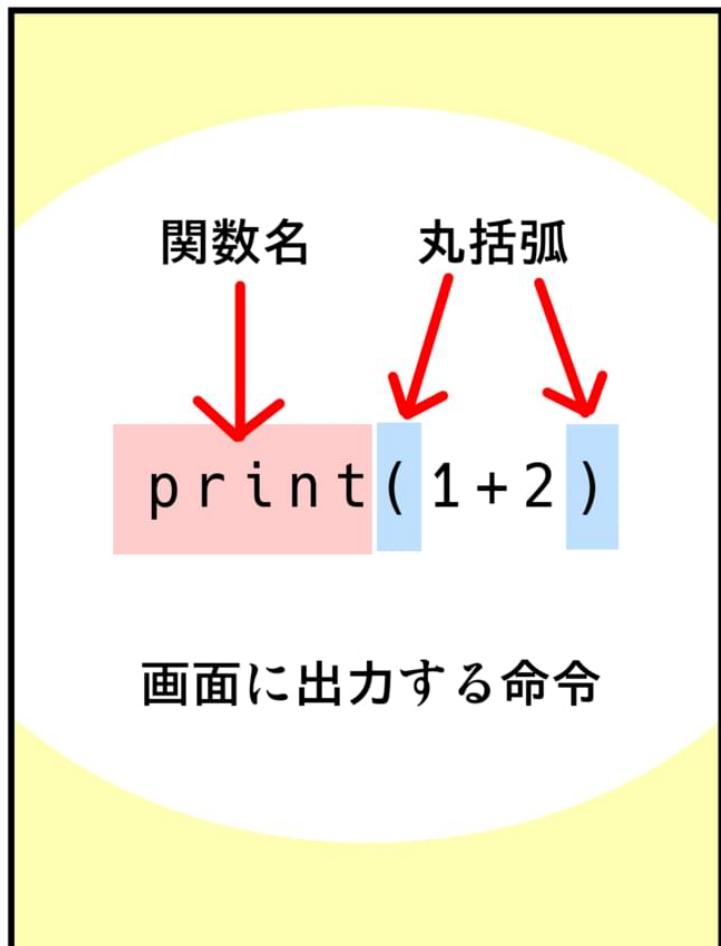






3-4 「関数」





引数1つ

print(1)

引数なし

print()

これは引数と呼び
関数に渡す情報に
なる

関数によつては
丸括弧の中に
値や式を書ける



関数によつて
引数を何個書くかは
決まつていて

カンマ区切りで複数の引数

print(1, 2, 3)



例：引数の中で
最も大きな値を
返す関数

`max(1, 2, 3)`



3

そうした値を
戻り値と呼ぶ

また関数の多くは
計算や処理の結果の
値を返す



`print(max(1, 2, 3))`



`max(1, 2, 3)は3`



`print(3)`の状態になり



「3」と表示

こうした関数を
組み合わせたら
こんな風になる



1. VSCodeでフォルダーを開く
2. フォルダー内に「main.py」を作る
3. 「main.py」にプログラムを書く

main.py

```
print(max(1, 2, 3))
```

実際に少し
プログラムを
書いてみよう



できました

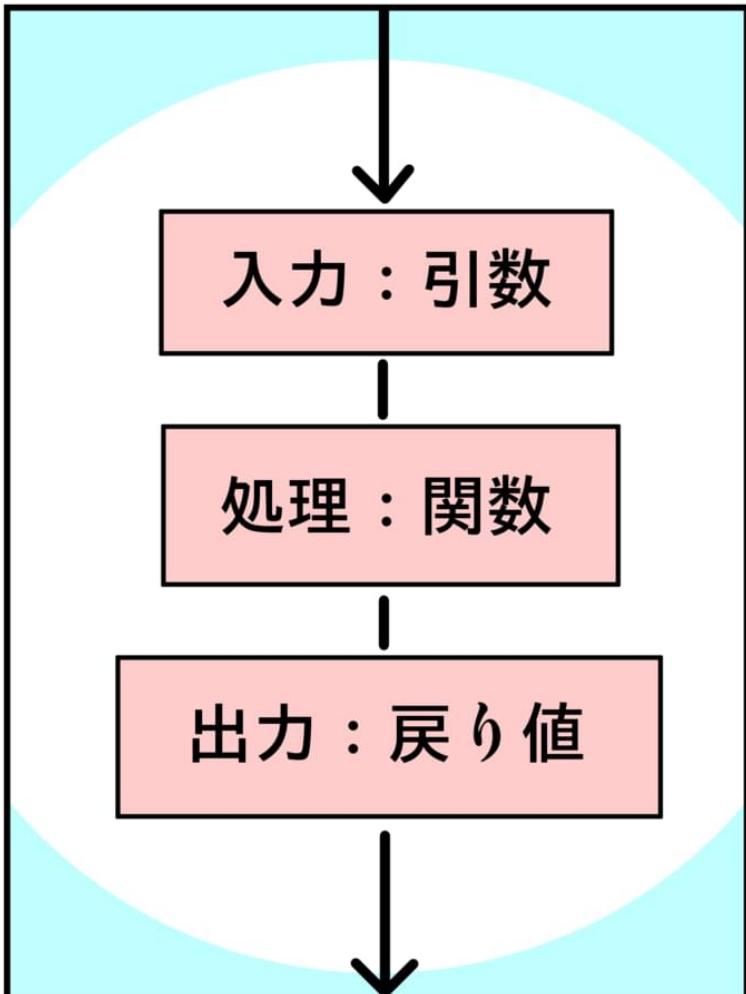
4. Ctrl+@でターミナルを開く
5. 「python main.py」を実行する
6. ターミナルに「3」と表示される

コマンドを実行

```
python main.py
```

> 3 ← と表示





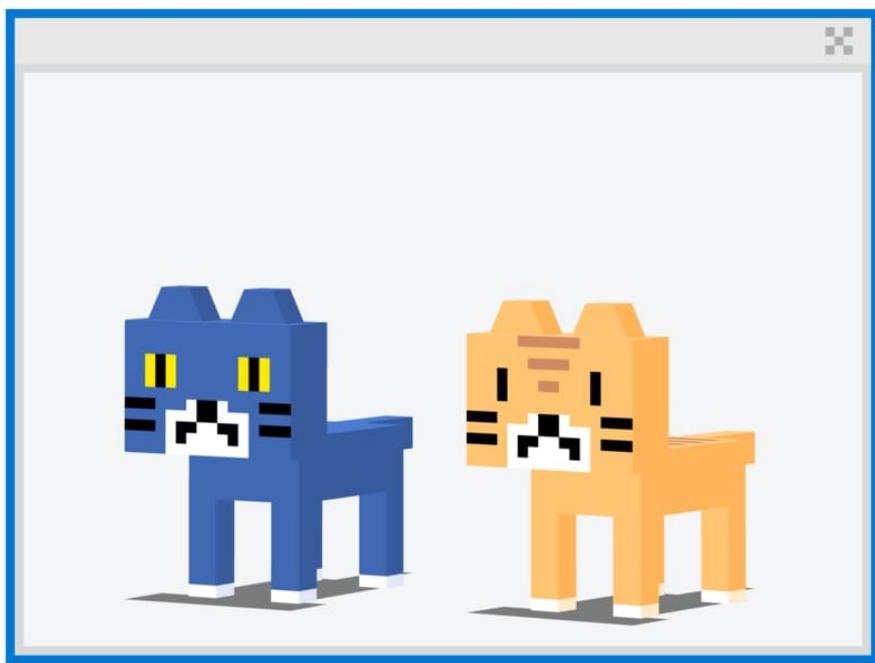
組み込み関数 Python ドキュメント
<https://docs.python.org/ja/3/library/functions.html>

※ 組み込み関数：
 初めから入っている関数

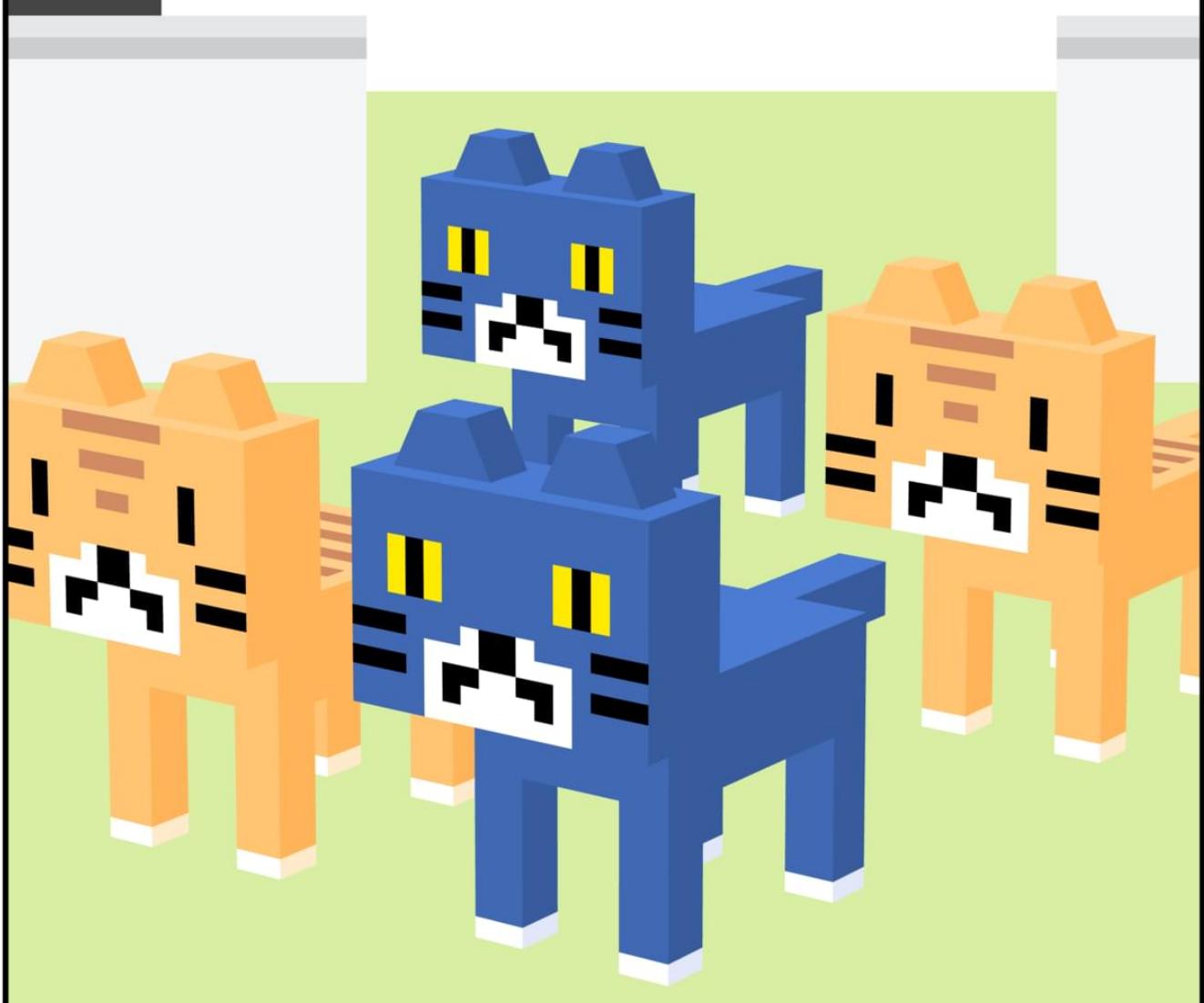
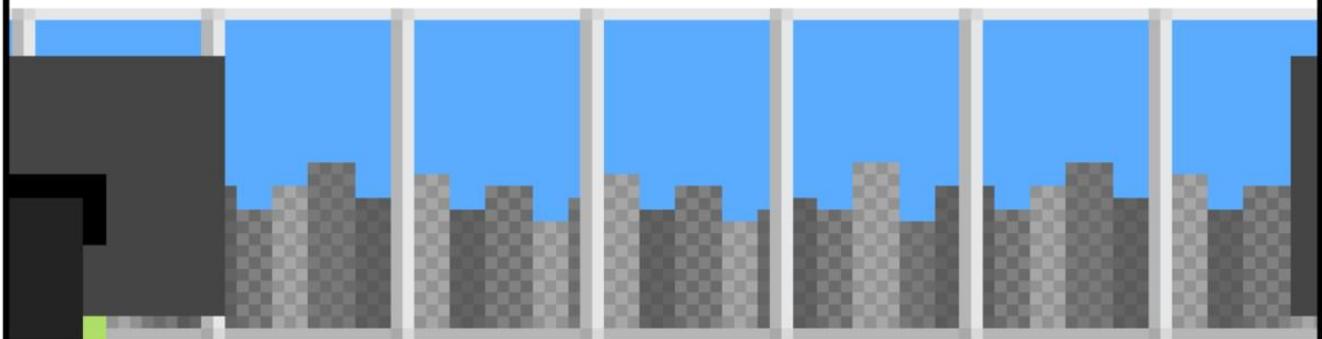
Python の
 組み込み関数の
 URL を書いておく
 暇な時に見てくれ







3-5 「值」



数値

1234

テキスト(文字列)

Abcdef

Bool値(真偽値)

True か False

他にもいろいろある

次は値だ
プログラムには
さまざまな値が
出てくる



もう少しだけ
詳しく説明して
いきぞ

プログラムでは
さまざまな値を
使い分けるんだ

いろいろ
ありますね



数値

1234

整数

0

-1234

小数点のつかない数値

12.34

小数点数

0.0

-12.34

小数点のついた数値

数値には整数と
小数点数があり
この2つは区別される

まずは数値だ



だから
プログラムでは
分けられるんだ

コンピューター内で
データの持ち方が
違うんだ

どうして
区別するん
ですか？



テキスト(文字列)

'My Cat.'

"Your Cat!"

'A'

"z"

シングルクォーテーションか
ダブルクォーテーションで囲う

次はテキストだ
文字列とも言う
クォーテーションで
囲つて表現する



1文字以上でも
0文字でも
いいんですね

中身がないのもあり
空文字と呼ぶこともある

''
'''



'1234'
"12.34"

これはテキストだ
数値ではない

あとテキストでは
少し注意すべき点が
ある



数値とは
みなされない

クオーテーションで
囲っているからな

どうしてですか？



改行は\n

'猫の名は\n虎次郎'

バックスラッシュ
 자체は\\

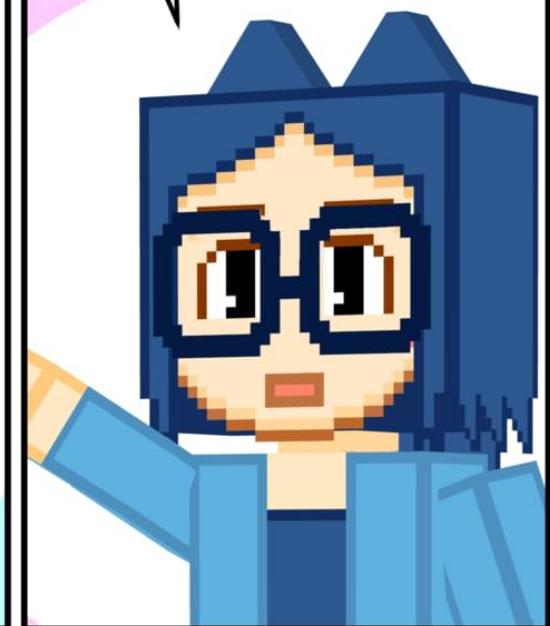
'仕事\\文書.txt'

テキスト内の
クオーテーションは
\を付ける

'大切なのは\'心\'です'
"大切なのは\"心\"です"

改行は
バックスラッシュ
のあとに\nと書く

あと改行の書き方を
覚えておくといい



タブ文字は\t

'動物\t猫\t虎次郎'

こうした
書き方は
いろいろとある

独特的
ルールですね



Bool値(真偽値)

True

真

はい、OK、有効などの意味

False

偽

いいえ、No、無効などの意味

トゥルーとフォルスの
どちらかの値を取る

次はブール値だ
真偽値とも言う



ブール値は
こうした時
の
判定に使
う

こちらを処理

True →

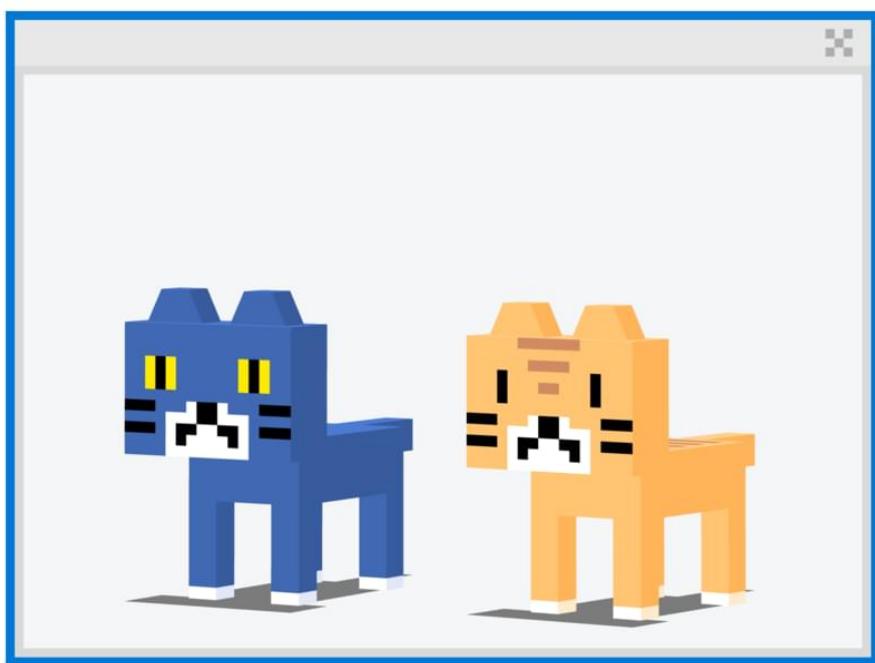
False →

こちらを処理

プログラムでは
条件を満たす時はA
満たさない時はBの処理
みたいのが多い







3-6 「演算子」

